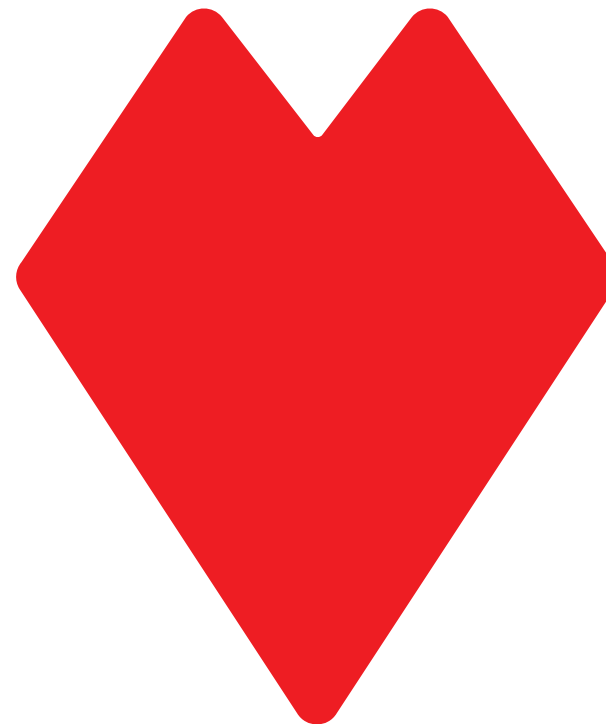


お口の恋人

**LOTTE**

**LOTTE**  
**Sustainability**  
**Databook 2022**



株式会社ロッテ サステナビリティデータブック2022

## Our Philosophy

コーポレートメッセージ

お口の恋人

**LOTTE**

ロッテグループ理念体系



### ハートマークと企業理念について

創業70周年を機に、コーポレートメッセージ「お口の恋人」を図式化したのがこのハートマークです。愛情や幸福の象徴であるハートに、口の形を投影したもので、「愛される会社になりたい、愛される製品をつくっていきたい。」という私たちが受け継ぐ創業の想いを示しています。この想いを言葉にしたものがロッテグループミッションであり、これを実現するためにロッテが大切にしてきた3つの価値がロッテバリューです。これらを企業理念とし、私たちの行動規範であるロッテグループウェイと合わせて理念体系としています。

## 株式会社ロッテ サステナビリティデータブック2022

企業理念／目次	01
ロッテバージョンの歩み	02
At a glance	03
価値創造ストーリー	
トップメッセージ	04
価値創造プロセス	06
ESG取り組み	
マテリアリティへのアプローチ	07
マテリアリティとESG中期目標	08
実績ハイライト	09
サステナビリティ経営の推進	12
有識者ダイアログ	14
環境 Environment	17
社会 Social	24
企業統治 Governance	43
データのサステナビリティ取り組み体系	46
温室効果ガス排出量の第三者保証	47
会社情報	47

### 報告内容について

編集方針	株式会社ロッテ サステナビリティデータブック2022は、全てのステークホルダーの皆様にサステナビリティへの考え方や取り組みをご理解いただくことを目的に、2021年度の活動を中心に掲載しています。また、下記のガイドラインを参考に編集しています。一部の過去情報は、より妥当な集計方法を採用し見直しを行っています。
参考ガイドライン	GRIスタンダード* (Global Reporting Initiative)、SASB (米国サステナビリティ会計基準審議会) * GRIスタンダード対照表はwebに掲載しています。 <a href="https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/standard.html">https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/standard.html</a>
対象期間	2021年度(2021年4月~2022年3月) 一部の子会社については、決算期に合わせて2021年1月~12月を対象としています。また、一部の報告内容には過去や直近の情報を含んでいます。
対象範囲	原則として、(株)ロッテおよびその連結子会社を対象にしていますが、2022年1月に連結子会社となったDari K株式会社および同3月に連結子会社となった株式会社銀座コージーコーナーは2021年度の活動報告の対象に含んでいません。ただし、2022年3月末時点の情報(Dari K株式会社および海外の子会社については、決算期に合わせて2021年12月末時点の情報)は、全ての連結子会社を対象としています。また、情報を十分に把握できない場合は、報告の都度、対象範囲を明示しています。
報告年月	2022年9月

HISTORY

ロッテノベーションの歩み

私たち(株)ロッテは、1948年、東京でチューインガムの製造販売から始まり、2018年に創業70周年を迎えました。

創業以来大切にしてきた3つの価値(ロッテバリュー)である

「ユーザーオリエンテッド(お客様第一)」「オリジナリティ(独創性)」「クオリティ(最上の品質)」のもと、

常に新たな価値の創造「ロッテノベーション」にチャレンジしてきました。

現在

ロッテノベーション

これまで培ってきた技術や知見、そして、創業の精神である3つの価値(ロッテバリュー)をもとに、人々の生活を豊かにする新たな価値の創造「ロッテノベーション」にチャレンジし続けています。

1948

創業

創業者 重光武雄は、戦後の品不足で粗悪品が出回っていた当時、よりよい製品を作り届けたいという想いで創業しました。この想いが、企業理念として受け継がれています。



1958

「ロッテ歌のアルバム」放送開始

当時、新しいメディアであったテレビに、いち早く着目し、歌謡番組「ロッテ歌のアルバム」の一社提供スポンサーになりました。この番組で「お口の恋人」というコーポレートメッセージが広く普及しました。



1964

チョコレートの製造販売開始

当時のチョコレートは、アメリカ流の軽い味わいが主流でした。そこで、スイスから技術者を招聘して誕生したのが、コクがありなめらかな「ガーナミルクチョコレート」です。



1964

「ガーナミルクチョコレート」発売



1972

アイスクリームの製造販売開始

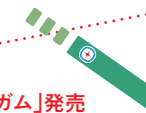
当時のアイスクリームには乳脂肪が多く使われていました。そこで、植物性脂肪を使い、日本人の味覚に合ったさっぱりとした爽やかな「イタリアーノ」を発売しました。



1997

「キシリトールガム」発売

1970年代、フィンランドで歯の健康に役立てられていたキシリトールに着目し、研究を開始しました。1997年にキシリトールが食品添加物として認可されると、いち早く「キシリトールガム」を発売しました。チューインガムで歯を丈夫で健康に保つという新たな価値を提供し、「むし歯のない社会へ。」という社会課題の解決に貢献してきました。



1981

「雪見だいふく」発売



1983

「チョコパイ」発売



1984

「コアラのマーチ」発売



2003

「クーリッシュ」発売



事業の歩み

1948	杉並区荻窪で(株)ロッテ創業	1958	ロッテ歌のアルバム放送開始	1970	キャンディの製造販売開始	1993	ロッテインドネシア設立	2010	ロッテウェデルがグループ入り
1950	社屋と工場を新宿区百人町に移転	1964	チョコレートの製造販売開始	1972	アイスクリームの製造販売開始	1996	ロッテベトナム設立	2018	創業70周年
				1976	ビスケットの製造販売開始	2002	ロッテスノー(株)設立	2022	Dari K(株)がグループ入り
				1978	現在の本社ビル(新宿区西新宿)に移転	2008	(株)メリーチョコレートカンパニーがグループ入り		
				1988	タイロッテ設立				

製品の歩み

1957	グリーンガム発売	1964	ガーナミルクチョコレート発売	1974	クランキーチョコレート発売	1994	トッポ発売	2015	乳酸菌ショコラ発売
				1979	パイの実発売	1997	キシリトールガム発売	2017	歯につきにくいガム粒<記憶力を維持するタイプ>、歯につきにくいガム板<記憶力を維持するタイプ>発売
				1981	雪見だいふく発売	1999	爽発売		
				1983	チョコパイ発売	2003	クーリッシュ発売		
				1984	コアラのマーチ発売				

AT A GLANCE

ロッテを知る

1 グループ

(株)ロッテ

# LOTTE

国内子会社

(株)メリーチョコレートカムパニー **Mary's**

(株)銀座コージコーナー

**GINZA Cozy Corner**  
銀座コージーコーナー

Dari K(株)



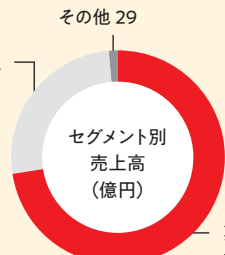
海外進出国および地域

- タイ
- ベトナム
- 台湾
- インドネシア
- ポーランド

2 2021年度 業績

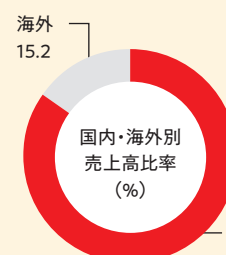
売上高 **2,395億円**

セグメント別  
売上高  
(億円)



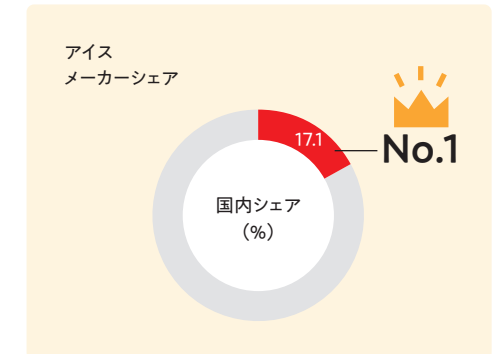
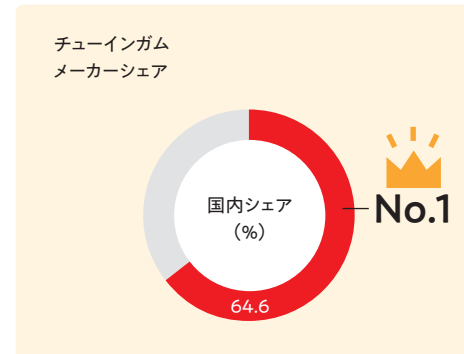
菓子 1,738  
アイス 627  
その他 29

国内・海外別  
売上高比率  
(%)



国内 84.8  
海外 15.2

3



\* 出典: インテージSRI+2021年4月~2022年3月販売金額

## ◆ トップメッセージ



持続可能な社会と環境の実現に向けて  
ロッテノベーションで取り組んでまいりますので、  
どうぞご期待ください。

株式会社ロッテ  
代表取締役社長執行役員 **牛腸 栄一**

2021年度は前年度に続き、新型コロナウイルスの流行がもたらした多くの苦しみや混乱の影響を引きずった1年でした。さらに、ウクライナでの戦争に端を発した原油高騰、それに続く食品原材料の高騰など、世界はこれまで以上に混沌としてきました。コロナ禍や戦争の影響を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く平穏な日々が訪れることをお祈り申し上げます。

このように激しく変化する世の中において、将来にわたり、(株)ロッテが社会に必要とされる企業であり続けるために、事業活動を通じた

持続可能な社会と環境の実現に貢献していく必要があります。これに取り組むために、2018年に5つのマテリアリティ(重要課題)「食の安全・安心」「食と健康」「環境」「持続可能な調達」「従業員の能力発揮」を整理し、それぞれの課題解決のためにESG中期目標を定めて取り組みを進めてきました。さらに昨年、(株)ロッテはTCFDがまとめた提言に賛同を表明し、本データブックで気候変動シナリオ分析の結果を公開しました。リスクと機会を分析することで、化石由来原料への依存を低減することや、原材料の安定調達を進めることの必要性を再認識し

ました。これらの取り組みを推進することにより、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の実現に貢献するとともに、(株)ロッテの持続的な成長を実現していきたいと考えています。

このように取り組みを体系化する以前から、私たちはイノベーションによる事業活動を通じた社会課題の解決に挑戦してきました。一例を挙げると、1997年発売の「キシリトールガム」は、お菓子がむし歯の原因になるというそれまでの常識を覆し、チューインガムで歯を丈夫で健康に保つという新しい価値を提供し、さらに「むし歯のない社会

## ◆ トップメッセージ

へ。」という世の中の課題解決にも貢献してまいりました。すなわちこれは、社会課題の解決と同時に経済価値を創出するCSV(共通価値の創造)の考え方を具現化した取り組みです。今日では、このようなイノベーションによる社会課題解決への挑戦を「ロツテノベーション」と名付けて、より一層推進しています。

有難いことに、私たちのこれまでの取り組みをご評価いただき、消費者庁が主催する「令和3年度 消費者志向経営優良事例表彰」において「消費者庁長官表彰」(特別枠)を受賞することができました。具体的には、歯科医師会や自治体と連携してキシリトールを配合したチューインガムを用い、「ガムはむし歯になりやすい」という概念を覆すむし歯予防に取り組んでいること、チューインガムを通じて「噛むこと」による口腔機能の改善を図り、介護予防・認知症予防など健康寿命の延伸を目指す取り組みも行っていることが評価され、受賞となりました。今回の受賞は、私たちの取り組みをご評価いただいたのと同様に、これまで以上に持続可能な社会の実現に貢献せよという期待だと捉えており、大変身の引き締まる思いです。引き続き、ロツテノベーションに挑戦し、社会課題の解決に貢献してまいります。

また、ESG中期目標については、世の中の動向に敏感に反応できるよう、定期的にアップデートをしています。昨年度はエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量(Scope1、2)削減の目標について上方修正しましたが、今

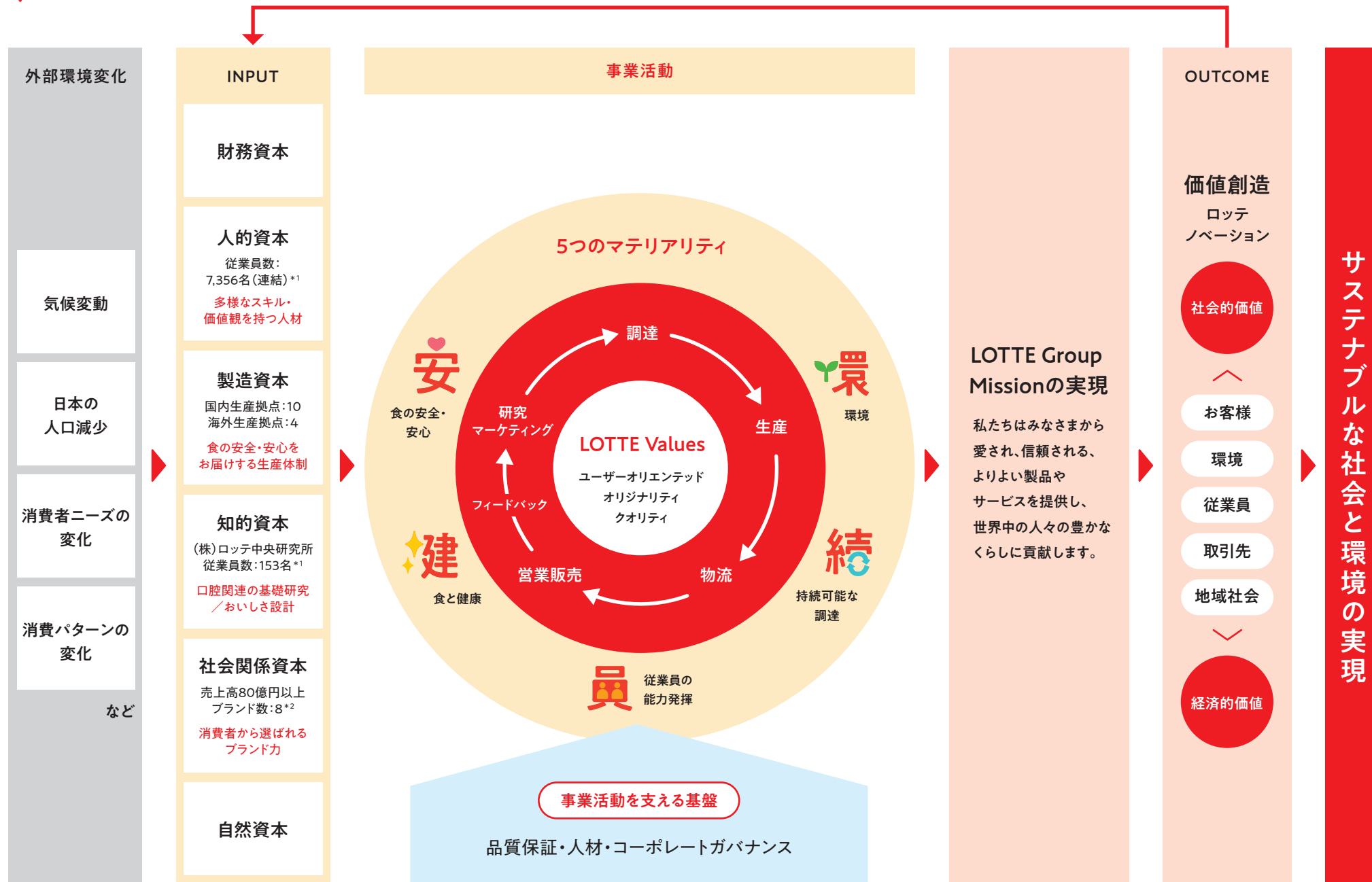
年度はカカオ豆の持続可能な調達目標について上方修正を行いました。カカオ豆は私たちにとって、非常に重要な原材料の一つですが、主に調達先のガーナでは、カカオ豆農家の貧困や児童労働、森林破壊等、様々な課題が指摘されています。これらの課題の解決に貢献するために設定したESG中期目標ですが、その上方修正を決定した背景には、新しくDari K(株)をグループに迎えたことがあります。彼らは、インドネシアにおいて発酵技術などを研究してカカオ豆の価値を高めながら農家の収入を向上させ、さらに商品の価値につなげる取り組みを行ってきたスタートアップです。ガーナとインドネシアという産地の違いはありますが、彼らと一緒にやることで課題解決を加速できるのではと考え、目標の上方修正を決定しました。さらに、この複雑な課題の解決に向けて様々な取り組みを計画しておりますのでどうぞご期待ください。

ESG中期目標を通じて実現したい未来に向けて、(株)ロツテの価値創造ストーリーを考えました。それは、ロツテノベーションそのものであり、創業の精神として受け継いできた3つの価値ロツテバリュー「ユーザーオリエンテッド(お客様第一)」「オリジナリティ(独創性)」「クオリティ(最上の品質)」を原動力に、ミッション「私たちはみなさまから愛され、信頼される、よりよい製品やサービスを提供し、世界中の人々の豊かなくらしに貢献します。」の実現を通じて持続可能な社会と環境の

実現に貢献するものです。事業活動を通じてマテリアリティに取り組むことで産み出した社会的価値と経済的価値をもとに、ブランドを磨き、成長のために人材や生産設備へ投資を行い、さらに新たなロツテノベーションによる価値創造に挑戦していきます。あらゆる事業活動の基盤は従業員一人ひとりであり、価値創造ストーリー実現のためには人材への投資が最も重要だと考えています。今年度より、計画的な次期経営人材育成のための新たな選抜型研修をスタートしました。また、コロナ禍を機にテレワーク勤務が定着したことで、それに合わせて本社の一部をフリーアドレスオフィスにする改装を行いました。これによって、テレワーク勤務で希薄になりがちなコミュニケーションを補い、従来よりも生産性の高い新しい働き方を実現していきます。

これからも(株)ロツテは、持続可能な社会と環境の実現に向けてロツテノベーションで取り組んでまいりますので、どうぞご期待ください。ステークホルダーの皆様には、今後とも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

## ◆ 価値創造プロセス



\*1 2022年3月末時点 (Dari K株式会社および海外は2021年12月末時点)

\*2 2021年度実績

## ◆ マテリアリティへのアプローチ

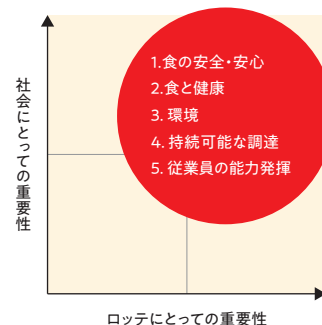
(株)ロッテは、創業以来一貫して、「ユーザーオリエントド(お客様第一)」「オリジナリティ(独創性)」「クオリティ(最上の品質)」という3つのロッテバリューを全ての企業活動の基本とし、お客様をはじめ、地域や社会に新たな価値を提供することで、成長し続けてきました。近年では、持続可能な社会・環境の実現に貢献するために、社会に及ぼす影響や事業活動における重要性をもとに、マテリアリティ(重要課題)を設定して事業活動を行っています。

### STEP1

#### マテリアリティの整理

持続可能な社会・環境の実現に貢献するために、事業活動を通じて取り組むべき課題を明確化しました。はじめに、ISO26000\*の7つの中核主題をもとに課題を把握し、事業活動において重要な課題を抽出しました。その後、外部の有識者と(株)ロッテに期待される取り組みについて意見交換を行い、マテリアリティを5つに整理しました。

\* ISO26000:ISO(国際標準化機構)が2010年11月に発行した、社会的責任に関する国際ガイダンス規格



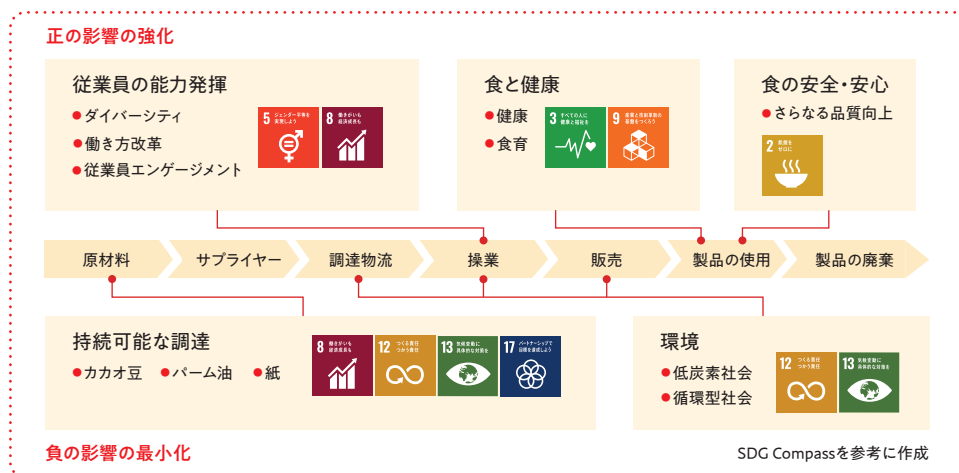
- 1  
食の安全・安心
- 2  
食と健康
- 3  
環境
- 4  
持続可能な調達
- 5  
従業員の能力発揮



### STEP2

#### バリューチェーンにおけるマテリアリティマッピング

2015年に国連が採択した持続可能な開発目標(SDGs)は、世界中の政府、地域社会、企業に対し広く協力を求める、人類と地球の繁栄の実現を目指す行動計画です。SDGs達成とよりよい世界の構築に向けて、(株)ロッテでは、各マテリアリティがバリューチェーン上で、「正の影響の強化」もしくは「負の影響の最小化」に貢献するかを特定しました。



### STEP3

#### ESG 中期目標の策定

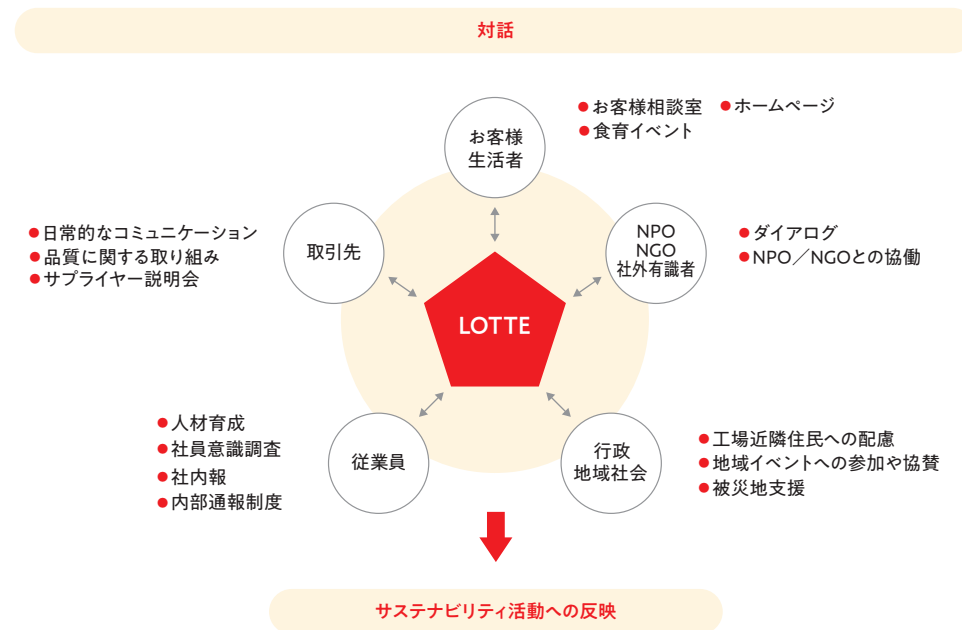
マテリアリティに具体的に取り組むため、ESG中期目標を策定しました。これらはSDGsへの貢献を考慮して策定しており、SDGsを構成する17のゴールのうち、マテリアリティごとに(株)ロッテとして貢献できるゴールを定め、重点的に取り組んでいきます。また、達成に向けて毎年進捗を確認し、情報公開に努めていきます。



### STEP4

#### ステークホルダーとの対話

ステークホルダーとの対話を継続的に行っており、いただいたご意見はマテリアリティやESG中期目標の見直し、情報開示の拡充などサステナビリティ活動へ反映しています。





## ◆ マテリアリティとESG中期目標

マテリアリティ	取り組み項目	指標	2023年目標	2028年目標	貢献するSDGsターゲット
1 食の安全・安心 	さらなる品質向上	GFSI承認スキーム (FSSC22000/BRC)	国内外全工場で <b>認証維持</b>	国内外全工場で <b>認証維持</b>	 2.1, 2.4
		ロッテ新品質保証システム LOTTE ADVANCEの導入	国内外開発・生産拠点へ <b>導入完了</b>	国内外開発・生産拠点で <b>継続運用</b>	
2 食と健康 	健康	「噛むこと」を意識して実践している人の割合(国内)	<b>35%以上</b>	<b>50%以上</b>	 3.4, 9.5
	食育	歯と口の健康のためにキシリトールを生活に取り入れている人の割合(国内)	—	<b>50%以上</b>	
3 環境 	低炭素社会	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量 (Scope1、2)削減率(2019年度比)	—	<b>23%以上削減</b> (2050年目標カーボンニュートラル)	 12.3, 13.1
	循環型社会	FLW(食品ロスおよび食品廃棄物)発生量削減率(2019年度比原単位)	—	<b>50%以上削減</b>	
		生産工程から排出された廃棄物のリサイクル率	<b>99%以上(国内)</b>	<b>99%以上(国内+海外)</b>	
4 持続可能な調達 	カカオ豆	フェアカカオ使用率	—	<b>100%</b> (2025年目標ガーナ産を100%)	 8.7, 8.8, 12.7, 17.16, 17.17
	パーム油	第三者認証油使用率	<b>100%(国内)</b>	<b>100%(国内+海外)</b>	
	紙	環境に配慮した紙使用率(容器包装)	<b>100%(国内)</b>	<b>100%(国内+海外)</b>	
5 従業員の能力発揮 	ダイバーシティ	女性管理職比率(国内)	<b>10%以上</b>	<b>20%以上</b>	 5.1, 5.5, 5.b, 8.5
	働き方改革	一人当たり年間総労働時間(国内)	<b>1,850時間以下</b>	<b>1,800時間以下</b>	
	従業員エンゲージメント	働きがいを感じている社員割合(国内)	<b>80%以上</b>	<b>80%以上維持</b>	

## 実績ハイライト

### 安 1. 食の安全・安心

#### GFSI承認スキーム(FSSC22000/BRC)

2020年度 > 認証維持\*

2021年度 > 認証維持\*

2023年目標 > 国内外全工場で認証維持

2028年目標 > 国内外全工場で認証維持

\* (株)ロッテ、(株)メリーチョコレートカムパニーおよび海外子会社の生産拠点が対象

#### ロッテ新品質保証システムLOTTE ADVANCEの導入

2020年度 > グループ共通基準の骨子完成

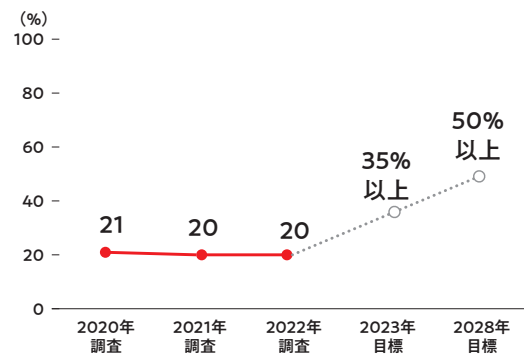
2021年度 > グループ共通基準の国内案完成

2023年目標 > 国内外開発・生産拠点へ導入完了

2028年目標 > 国内外開発・生産拠点で継続運用

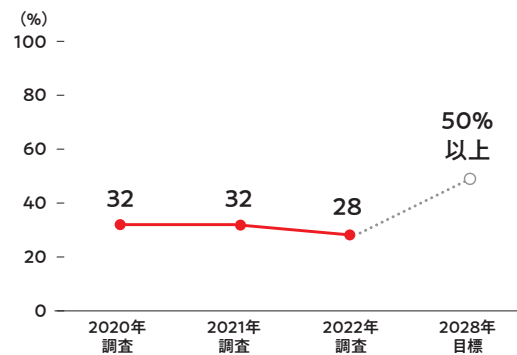
### 建 2. 食と健康

#### 「噛むこと」を意識して実践している人の割合(国内)



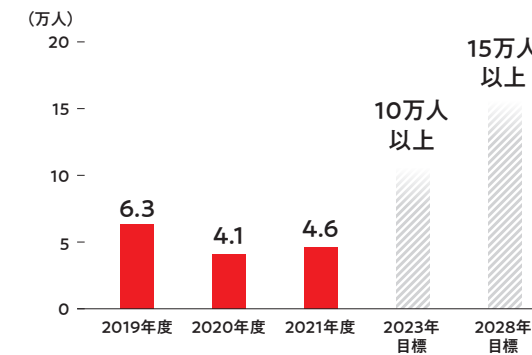
3,000人を対象としたインターネット調査(ロッテ調べ)

#### 歯と口の健康のためにキシリトールを生活に取り入れている人の割合(国内)



3,000人を対象としたインターネット調査(ロッテ調べ)

#### 食育体験者数

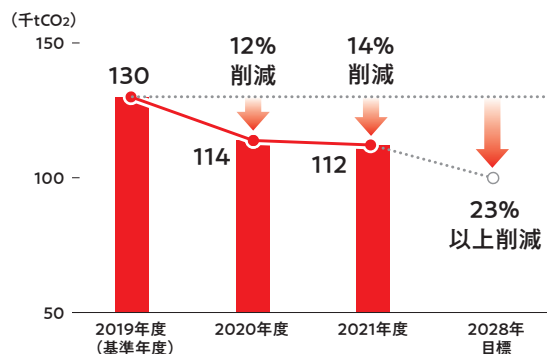


集計対象  
株式会社ロッテ

# 実績ハイライト

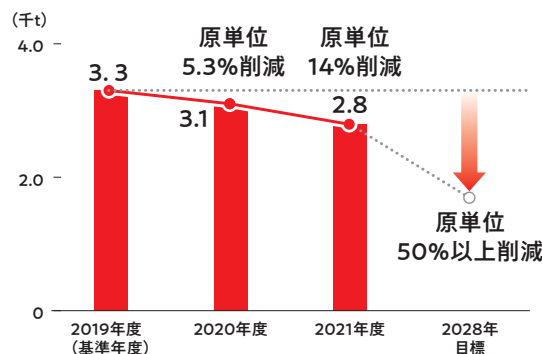
## 3. 環境

エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1,2)削減率(2019年度比)



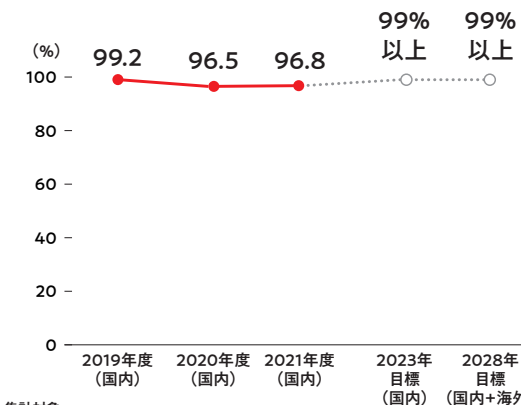
集計対象  
国内：株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー  
海外：主要な海外子会社 (THAI LOTTE CO., LTD., LOTTE VIETNAM CO., LTD., PT. LOTTE INDONESIA, LOTTE Wedel sp. z.o.o.)

FLW (食品ロスおよび食品廃棄物)発生量削減率(2019年度比 原単位)



集計対象  
株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー、主要な海外子会社

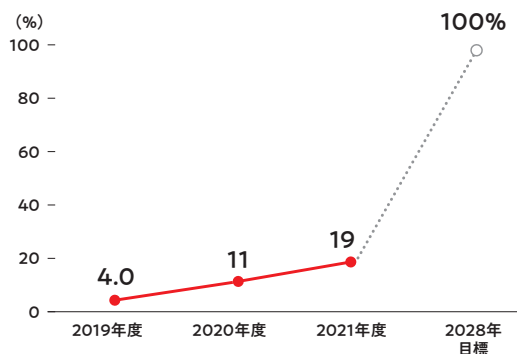
生産工程から排出された廃棄物のリサイクル率



集計対象  
株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

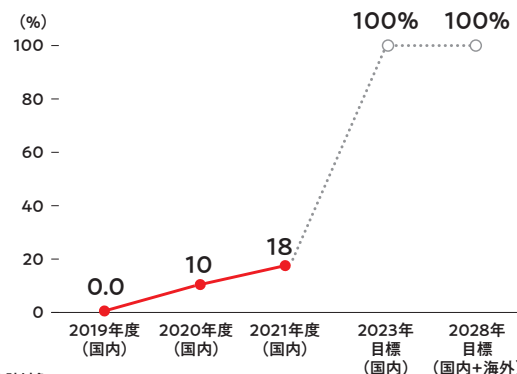
## 4. 持続可能な調達

フェアカカオ使用率



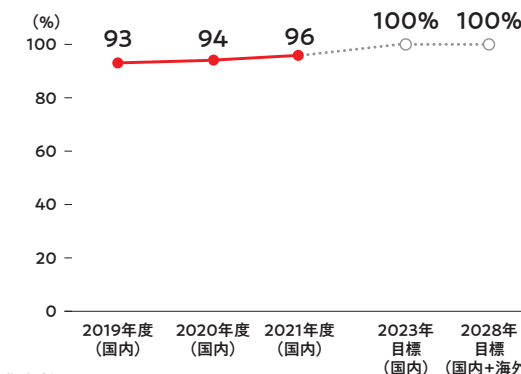
集計対象  
株式会社ロッテ  
豆の状態で開催したカカオ豆の重量

第三者認証油使用率



集計対象  
株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー  
油脂および油脂加工品に含まれるパーム油の重量  
過去報告値に誤りがあったため見直しています。

環境に配慮した紙使用率(容器包装)

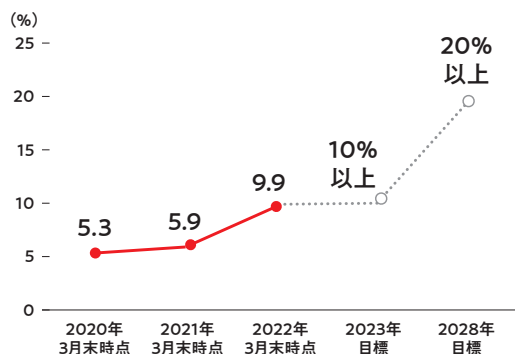


集計対象  
株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

◆ 実績ハイライト

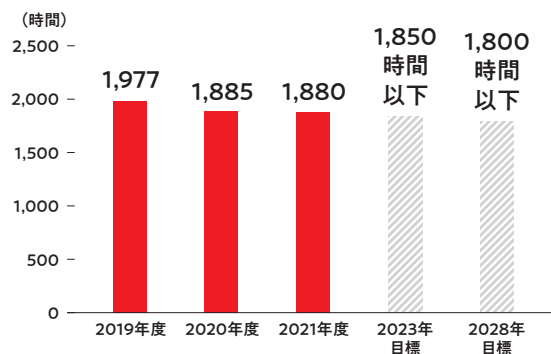
員 5. 従業員の能力発揮

女性管理職比率(国内)



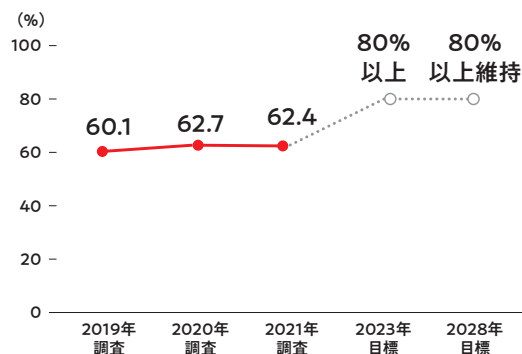
集計対象  
株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー  
ただし、2022年3月末時点の実績にはDari K株式会社および株式会社銀座コージコーナ  
を含む。

一人当たり年間総労働時間(国内)



集計対象  
株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

働きがいを感じている社員割合(国内)



集計対象  
株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

フェアカカオ使用率の  
目標変更について



カカオ豆の生産地は農家の貧困や児童労働、森林破壊等、様々な課題を抱えています。チョコレートが主力製品である(株)ロッテにとって、カカオ豆の持続可能な調達には重要な課題であり、ESG中期目標の中でフェアカカオの使用率を設定して取り組みを進めてきました。この度、この取り組みをさらに加速させるために、目標の上方修正を行いました。2025年度までに主な調達先であるガーナから調達するカカオ豆のうちフェアカカオの割合を100%にすること、さらに2028年度までに全ての調達先から調達するカカオ豆のうちフェアカカオの割合を100%にすることを新たな目標に掲げました。

CO<sub>2</sub>排出量削減目標の  
SBT認定の取得について



(株)ロッテでは、2028年度までに主な温室効果ガスであるエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量(Scope1、2)を2019年度比で23%以上削減することを目標に掲げています。この2028年度までの目標は2022年5月にSBT\*認定を取得しました。

\* SBT: 科学と整合した目標設定の略。  
パリ協定の水準に整合する温室効果ガス排出量削減目標のことで、SBTi (Science Based Targets initiative) によって目標を設定する企業の認定が行われている。



## ◆ サステナビリティ経営の推進

### 基本的な考え方

(株)ロッテは企業理念を実践し、イノベーションへのチャレンジによって新しい価値をお客様や社会に提供することで成長してきました。一例を挙げると、1997年発売の「キシリトールガム」は、お菓子がむし歯の原因になるというそれまでの常識を覆し、チューインガムで歯を丈夫で健康に保つという新しい価値を提供し、さらに「むし歯のない社会へ。」という社会課題の解決にも貢献してきました。すなわち、社会課題の解決と同時に経済価値を創出するCSV (Creating Shared Value: 共通価値の創造) の考え方です。これからも、企業理念の実践によってCSVにチャレンジすることで、気候変動や人権問題などの現代社会が直面する課題の解決に貢献していきます。2018年には、このようなサステナビリティ経営の考え方を明文化したサステナビリティ方針を制定しました。

ロッテグループの企業理念は、ロッテグループミッションと、それを実現するために創業当時から大切にしてきた3つの価値ロッテバリューによって構成されており、全ての事業活動の中心となっています。ロッテバリューには「ユーザーオリエンテッド(お客様第一)」「オリジナリティ(独創性)」「クオリティ(最上の品質)」を掲げており、これらがCSVを実現するイノベーションへのチャレンジの原動力です。

#### ▶ ロッテグループ 企業理念体系

<https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/>

#### ▶ (株)ロッテ サステナビリティ方針

<https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/sustainability.html>

### 推進体制

(株)ロッテESG推進部の担当執行役員が責任者、同部サステナビリティ推進課が事務局となり、関連部署や子会社と連携して取り組んでいます。また、サステナビリティに関する方針および戦略の策定やESG中期目標の進捗管理も同課が行っており、関連部署と連携して取り組みを推進しています。ESG中期目標の進捗および、サステナビリティに関する重要事項について、担当役員より経営会議および取締役会に報告しています。また、事務局は社会とのコミュニケーションを通してステークホルダーからの期待や懸念を把握し、サステナビリティ経営に反映する役割も担っています。社外有識者と定期的にダイアログを

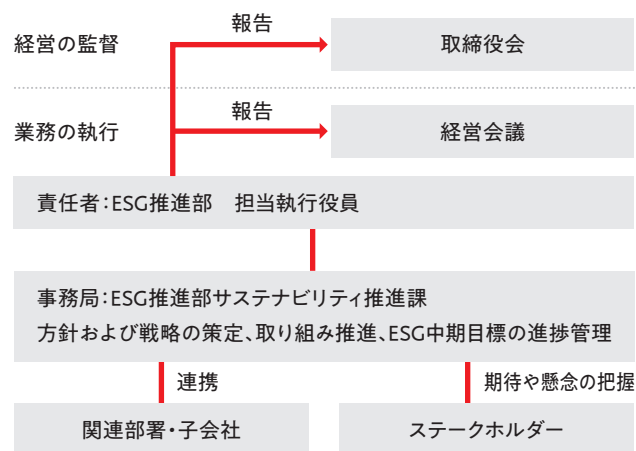
行うことで(P14参照)、社外の視点を取り入れるようにしています。

事業に重大な影響を及ぼす可能性のあるサステナビリティ関連リスク(気候変動関連リスクP17参照、人権リスクP24参照)については、リスク管理委員会を中心とするリスク管理体制(P43参照)に基づいて管理しています。

情報開示についても同課が担当しており、GRI\*1やSASB\*2を参考にしながら、ステークホルダーの皆様との対話に資するよう開示内容の拡充に努めています。

\*1 Global Reporting Initiativeの略。サステナビリティに関する国際基準の策定を行う非営利団体。

\*2 サステナビリティ 会計基準審議会(Sustainability Accounting Standards Board)の略。2011年に米国サンフランシスコを拠点に設立された非営利団体で、将来的な財務インパクトが高いと想定される企業のESG要素に関する開示基準を業種別に設定している。



### 従業員の教育

サステナビリティ経営を推進するためには、その担い手である従業員が考え方を十分に理解する必要があると考えています。そこで、従業員に対して様々なアプローチで教育・啓発を行っています。(株)ロッテWEB社内報では、マテリアリティやESG中期目標について解説する記事を掲載するとともに、サステナビリティに関するトピックをタイムリーに情報発信しています。さらに、人事部門が主催する各種研修の中で、サステナビリティに関する内容を組み込んでおり、新入社員、新任基幹職および新任管理職向けの研修の中でサステナビリティについて説明しています。

また、社外より専門家を招聘し、マテリアリティに沿ったテーマで社内勉強会を開催しています。より多くの従業員が視聴できるように、2020年度よりオンライン動画配信およびアーカイブ形式に変更して実施しています。

#### → 勉強会実績

2019年度	オーラルフレイル*1 (関連するマテリアリティ:食と健康)
	パーム油 (関連するマテリアリティ:持続可能な調達)
	フードセーフティ (関連するマテリアリティ:食の安全・安心)
2020年度	イクボス*2 (関連するマテリアリティ:従業員の能力発揮)
	食育 (関連するマテリアリティ:食と健康)
2021年度	噛むこと (関連するマテリアリティ:食と健康)
	再生可能エネルギー (関連するマテリアリティ:環境)
	地球温暖化 (関連するマテリアリティ:環境)

\*1 オーラルフレイル:噛む、飲み込む、話すなどの口腔機能が衰えることを指し、フレイル(身体の衰え)の一種。

\*2 イクボス:子育てに積極的に関わる男性をイクメンと呼ぶのにならい、部下の育児や介護などライフ・ワーク・バランスの両立を支援する上司。

## 参加、賛同している主なイニシアチブ等

### → グローバルなイニシアチブ等

国連グローバル・コンパクト(UNGC)

持続可能なパーム油のための円卓会議(RSPO)

世界カカオ財団(WCF)

Science Based Targets イニシアチブ(SBTi)

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)

自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)フォーラム

### → 国内のイニシアチブ等

ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム日本サステナビリティ・ローカル・グループ

TCFDコンソーシアム

クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス(CLOMA)

国連食料システムサミット(FSS)

GXリーグ基本構想

10X20X30食品廃棄物削減イニシアティブ日本プロジェクト

xSDGコンソーシアム

開発途上国におけるサステナブル・カカオ・プラットフォーム

### 国連グローバル・コンパクトへの参加

国連グローバル・コンパクトは、企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み作りに参加する自発的なイニシアチブです。(株)ロッテは、2021年4月に国連グローバル・コンパクトへ参加し、「人権の保護」「不当な労働の排除」「環境への対応」、そして「腐敗の防止」に関わる10の原則の支持を表明しました。



## サステナビリティ活動の推進に向けて

新型コロナウイルス感染症の影響は、現在もまだ続いており、社会の環境や人々の生活は否応なく変化が求められてきました。2022年の春以降には行事、イベントなども徐々に再開されるようになり、少しずつではありますが、社会活動や経済活動も戻ってきていると感じています。しかしながら、日々の生活が以前のように完全に戻ることはなく、新型コロナと共存する社会が「新しい日常」になったと感じています。

持続可能な開発目標(SDGs)は、日本でもその認知度が格段に上がり、この言葉を目にしなない日はないと言えるほどになっています。SDGsが目指す2030年目標に対して、残り7年余りとなり、目標達成のために企業も個人も対応を大きく加速していかなければなりません。

2021年は、SDGsやサステナビリティにおいて大きな動きがあった年でした。気候変動の分野では、2021年10月末から、イギリスのグラスゴーで国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)が開催されました。COP26では、気候変動対策としてCO<sub>2</sub>削減をさらに加速させていかなければならないことが改めて明らかになりました。人権の分野では、サプライチェーンの人権問題が大きく取り上げられました。経済産業省と外務省が共同で行った「日本企業のサプライチェーンにおける人権に関する取り組み状況のアンケート調査」の結果が2021年11月に公表され、企業のサプライチェーンにおける人権課題対応の重要性が明らかになりました。

(株)ロッテは、持続可能な社会・環境の実現に貢献するために、事業活動において取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を「食の安全・安心」「食と健康」「環境」「持続可能な調達」「従業員の能力発揮」の5つに整理し、重要課題の取り組み状況を測る指標として、2018年にESG中期目標を設定しました。ESG中期目標については、社会情勢の変化などを踏まえ、適宜見直しを行っています。

環境のESG中期目標では、2028年にエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量(Scope1、2)を2019年度比で23%以上削減、2050年にカーボンニュートラルの実現との新たな目標を設定しました。この目標を達成するため、生産工場におけるエネルギーの効率的な利用、再生可能エネルギーの使用拡大などの施策を進めています。

持続可能な調達のESG中期目標では、重要原材料の1つであるカカオ豆について、フェアカカオ利用率を2025年にガーナ産カカオ豆で100%、2028年に全てのカカオ豆で100%とすることに見直しました。「フェアカカオプロジェクト」と名付けた取り組みでは、チョコレートの主要な原料であるカカオ豆生産地の大きな課題の一つである児童労働の撤廃を目指した取り組みを行っています。児童労働を発見、是正するためのモニタリングを行うとともに、地域ごとに異なる課題を明らかにし、地域に合った支援を行うことを目的に進めています。

私たちは、社会の一員として、引き続き持続可能な社会の実現を目指して参ります。この取り組みは、ロッテの企業理念である「世界中の人々の豊かなくらしに貢献」することの実現につながるものと考えています。今後も、ステークホルダーの皆様とともに、取り組みを加速していきますので、ロッテの取り組みにご期待ください。

### 佐藤 誠

株式会社ロッテ  
ESG推進部 部長



## ◆ 有識者ダイアログ

(株)ロッテでは、2018年より外部有識者の方をお招きし、ダイアログを実施しています。ダイアログでは、サステナビリティへの取り組みについて忌憚のないご意見や今後に向けたアドバイスをいただき、活動に反映しています。2022年は2021年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大を防止するためオンラインにて実施しました。

### 食の安全への思いをもっとアピールしてください

食の安全・安心は、事業の中で最も大事なところ。より厳しい基準のLOTTE ADVANCEは、お金だけでなく時間や従業員のエネルギーが投入されています。特に製造や調達の現場に携わる方は日々、安全な食品を提供するために努力されていますので、その熱い思いをもっとアピールしてください。

キシリトールや「噛むこと」を生活に取り入れようという活動が評価され、消費者志向経営を受賞されました。食と健康は事業の中心ですので、5つのマテリアリティに濃淡をつけてもよいと思います。「噛むこと」やキシリトールは、会社を横串として貫く共通価値であり、強みですので、ぜひ強調されるべきです。高齢化は先進国だけでなく、途上国でも課題になりますので市場にも高い訴求力があります。

食品ロス削減は喫緊の課題ですが、より価値の高いリサイクル方法を求める姿勢をぜひ発信してください。リサイクルした飼料を食べる牛のミルクがお菓子に使われるなどのストーリーがあるといいですね。世界では、サプライチェーンに関わる全ての人と家族が生活できる賃金を支払うことが調達のテーマになっています。ロッテさんは、フェアカカオや認証油の購入など持続可能な調達を進められていますので、今後の展開を楽しみにしています。そういう意味でDari Kのノウハウを学ばれるのはすばらしい経営判断だと思います。

### 社会の変化に合わせ、常に取り組みをアップデートしてください

70年史やレポートを拝見し、ロッテが量から質へというステージにきているように感じています。ライフサイクルの短い新商品を数多く出すより主力商品に注力して育てていくのは良い考え方です。

グローバルでのサプライチェーン管理のために、Sedexでサプライヤーの人権や環境についての情報を効率的に管理することは、ロッテとサプライヤーの両社にメリットがあり、とても良い取り組みだと思います。

今年4月にプラスチック資源循環促進法が施行されました。それに合わせて、使い捨てプラスチック削減などの数値目標をレポートに盛り込んでいくことも必要です。社会の変化とともに、マテリアリティや取り組みをアップデートすることが、ロッテと社会のサステナビリティにつながっていきます。

食品ロス削減には、商品として流通する期間を適切に伸ばすことが大切です。賞味期限の延長や年月表示化を進めていますが、まだ年月日表示の商品が残っており、さらなる進捗を期待しています。カカオの未利用部分を使って染めたネクタイは、ロッテらしい試みですね。

昨年も申し上げましたが、商品パッケージをもっとお客様とのコミュニケーションに活用できると思います。機能性については上手に表示されていますので、歴史やサステナビリティ取り組みなどの紹介も期待しています。



赤羽真紀子氏

CSRアジア株式会社 日本代表

早稲田大学で政治学と生物学を修める。様々な業種の多国籍企業のCSR担当として通算10年以上の経験を有し、スターバックスコーヒージャパン(株)、(株)セールスフォース・ドットコム、日興アセットマネジメント(株)の各社で関連部署の立ち上げを手がける。2010年より現職



井出留美氏

ジャーナリスト、食品ロス問題専門家  
令和2年度食品ロス削減推進大賞消費者庁長官賞受賞者

奈良女子大学食物学科卒、博士(栄養学/女子栄養大学大学院)、修士(農学/東京大学大学院農学生命科学研究科)。ライオン(株)、JICA海外協力隊を経て日本ケロッグ広報室長等歴任。東日本大震災の際に食料廃棄に憤りを覚え、(株)office 3.11設立。日本初のフードバンクの広報を務め、2016年には食品ロス削減推進法成立のきっかけを作った。著書に『賞味期限のウソ』『食料危機』『あるものでまかなう生活』『捨てないパン屋の挑戦』(第68回青少年読書感想文全国コンクール課題図書)他

## ◆ 有識者ダイアログ

### エシカル消費に関心の高い若い世代に発信を

消費者志向経営優良事例表彰特別賞の受賞おめでとうございます。ロッテの企業理念は消費者志向そのものです。理念が社内で共有され、会社の風土になっていきます。今までやってきたことをさらに進化させていってください。

消費者から、アフリカのカカオ生産地での児童労働についての問い合わせがあると聞きました。人権に対する考え方を社内に浸透させ、今後も取り組みを継続して進めて欲しいと思います。SDGsの達成や持続可能な社会が重要だと消費者が意識するようになり、エシカル消費も少しずつ広まっています。それらに関心の高い若い世代に向けて発信していくことが重要です。

コロナを契機にリモートワークが進み、仕事と生活のバランスをとれることが、従業員の働きがいにつながっているのだと思います。リモートでもコミュニケーションが円滑にとれるようにチャットを活用されている点も良いですね。

食の安全・安心への取り組みを消費者に伝えるには、体験しながら学べる工場見学が有効だと思います。食と健康では、噛むことを意識して実践している人を増やすことを目標にされていますが、そこに楽しさが加わると消費者も受け入れやすくなります。ロッテのサステナビリティの取り組みは素晴らしいので、ぜひ積極的に発信してください。

### 消費者と価値の共有を図ることが、 社会課題解決やSDGs達成につながっていきます

全体としては、とてもいい方向に進んでいると思います。自治体と協力した食と健康の取り組みが評価され「消費者志向経営優良事例表彰」を受賞されましたが、消費者志向経営は未来・次世代のための取り組みを重視しており、SDGs、サステナビリティと親和性があります。コミュニケーションを通して消費者と価値の共有を図ることが、社会課題解決やSDGs達成につながっていきます。こういった評価や会社の姿勢をレポートにしっかりと出していくことが大事です。また、取り組みの事実や結果だけでなく、その背景や苦勞した点などをナラティブに記述することで、ロッテが目指していることを世の中に示すことにもつながります。

ESG中期目標の「食の安全・安心」では、GFSI(Global Food Safety Initiative)にコミットして認証を受けることや、独自の品質保証システムLOTTE ADVANCEのように業界をリードする取り組みが非常に良いと思います。また、気候変動に関するリスク/機会分析を進めていることやSBT(Science Based Targets)にコミットしたことは評価できます。今後は、取り組みを生物多様性やサプライチェーンマネジメントにも広げていくことを期待します。

カカオ豆のサステナビリティに取り組んできたDari Kがグループに参加されたことで広がる新たな可能性にも期待しています。



浦郷由季氏

一般社団法人全国消費者団体連絡会\*事務局長

大学卒業後、7年間の会社勤めの後、専業主婦として子育てをしながら生協の活動に関わる。生活協同組合ユーコープ、日本生活協同組合連合会の理事を経て、2017年5月より現職。厚生労働省、食品安全委員会、消費者庁などの審議会等委員を務める

\*消費者団体の全国的な連絡組織で、くらしに関わる様々なテーマについて、審議会への委員参加やパブリックコメントの提出などを通じて消費者の立場から意見発信をしている



蟹江憲史氏

慶應義塾大学大学院  
政策・メディア研究科 教授

同大学SFC研究所xSDG・ラボ代表。北九州市立大学助教授、東京工業大学大学院 社会理工学研究科准教授を経て、2015年より現職。2023年Global Sustainable Development Report執筆の15人の独立科学者の一人に国連事務総長から選出されている。専門は国際関係論、サステナビリティ学、地球システム・ガバナンス。SDGs研究の第一人者であり、研究と実践の両方を行っている。博士(政策・メディア)



## ◆ 有識者ダイアログ

### 高い目標設定が素晴らしい 商品開発力も活かし市場変革をリードして欲しいです

サステナビリティレポート2021は一般の方でも読みたくなる工夫があり、コミュニケーションを重視されているロッテらしさが表れていました。高い目標を設定され、全社で取り組む姿勢は素晴らしいです。その分、今後の進捗にも注目が集まりますね。RSPO認証、Sedexなど外部のプラットフォームを活用して業界全体のサステナビリティにも貢献しながら取り組んでいる点が評価できます。また、人権デューデリジェンスは国内の業界でも先進的なレベルにあると評価できますが、児童労働、強制労働といった人権課題への対応をさらに進めるには、NGOなど外部視点でのチェックやサプライヤー向け通報窓口の開設もお勧めします。また児童労働の原因でもある農家の低収入や森林破壊などを含め、今後もカカオ生産地の幅広い社会課題の解決への取り組みを期待しています。

5つのマテリアリティは、独自性が分かりにくい点が気になりました。今後見直しされる際には、ロッテの注力ポイントである食と健康やカカオ豆の調達など、是非より具体的なものにしてください。ダイバーシティでは、男性の育休取得率が50%へと飛躍的に向上したことはすばらしいですね。他の取り組みについても今後のスピードアップを楽しみにしています。

ロッテがキシリトールの商品で効果を紹介されたことで消費者の意識や行動が変わりました。商品開発力はロッテの強みです。今後も消費者の意識まで変えてしまうような素敵なエシカルチョコの開発などを期待しています。



潮崎真惟子氏

認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン 事務局長

デロイトトーマツ コンサルティングを経てオウルズコンサルティンググループにてマネジャーを務める。コンサルタントとしては人権デュー・デリジェンス、サステナビリティ戦略、政策立案などを多数担当。「児童労働白書2020 ―ビジネスと児童労働―」執筆。一橋大学経済学部卒、同大学経済学研究科修士(地域開発)。人権・労働分野の国際規格SA8000の監査人コース修了



### ダイアログを受けて

### 社外からのご意見やアドバイスを反映して サステナビリティ活動と情報開示を進化させてまいります

外部有識者の方々とのダイアログは、当社に対して客観的なご評価やアドバイスいただける大変貴重な機会で、いただいたご意見をサステナビリティ活動や情報開示に反映しています。例えば、昨年のダイアログでアドバイスいただいたSDGsの169のターゲットへの貢献については、本データブック(P8)でESG中期目標とターゲットの関係を明確にしています。また、使い捨てプラスチックの削減についてもご指摘いただいておりますが、キシリトールブランドを中心に、容器包装のプラスチック使用量削減も進めています。さらに、アドバイスを参考にしてESG中期目標のアップデートを行っており、今年にはカカオ豆の持続可能な調達に関する目標の上方修正を行いました。ちょうど、Dari K(株)がグループ入りしたタイミングと重なったこともあり、このテーマについて当社への大きな期待を感じました。この期待を裏切ることがないよう取り組みを推進してまいります。これからも社外からのご意見やアドバイスを反映してサステナビリティ活動と情報開示を進化させてまいりますので、どうぞご期待ください。



佐藤利弘

株式会社ロッテ  
常務執行役員



Environment

環境



地球環境の保全は生命の存続に係わる最重要課題であり、私たちのビジネスも地球環境の恩恵を受けて成り立っています。こうした考えのもと、持続可能な地球環境の実現に貢献することを重大な責務の一つと捉え、事業活動から生じる環境負荷の継続的な低減に取り組んでいます。

- ◆ 気候変動への対応
- ◆ 温室効果ガス排出量の削減
- ◆ 資源循環への貢献
- ◆ 生物多様性への配慮
- ◆ 水資源
- ◆ 環境マネジメント

◆ 気候変動への対応

基本的な考え方

(株)ロッテの事業は、地球環境の恩恵を受けて成り立っており、気候変動が事業活動に与える影響が大きく、その対応は重要な経営課題であると認識しています。2021年5月にはTCFD\*1への賛同を表明し、賛同企業や金融機関が議論を行うTCFDコンソーシアム\*2に加入しました。TCFDの提言に基づいたリスクと機会の分析によるレジリエンス強化および情報開示を進めています。



- \*1 TCFD: 気候関連財務情報開示タスクフォースの略。G20からの要請を受け、金融安定理事会(FSB)が2015年に設立。企業に対し、気候変動関連リスクおよび機会について開示することを推奨する提言をまとめた。
- \*2 TCFDコンソーシアム: 企業の効果的な情報開示や、開示された情報を金融機関等の適切な投資判断につなげる取り組みについて議論する場として、2019年に設立。

ガバナンス

事業に関わるあらゆるリスクはリスク管理委員会を中心とするリスク管理体制(P43)において管理しており、気候変動に関するリスクと機会も同様です。そして、サステナビリティに関する重要な事項は、取締役会の監督のもと、経営会議にて審議され、経営に反映されています。

また、ESG中期目標の一つとして主要な温室効果ガスであるエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量(Scope1、2\*)の削減に取り組んでおり、ESG推進部サステナビリティ推進課がその進捗を取りまとめています。経営会議および取締役会はESG推進部担当執行役員より進捗について報告を受けています。

- \* GHGプロトコルに基づく排出量の算定範囲
- Scope1: 事業者自らによる直接排出
- Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope3: サプライチェーンに関わるScope1、2以外の間接排出

戦略

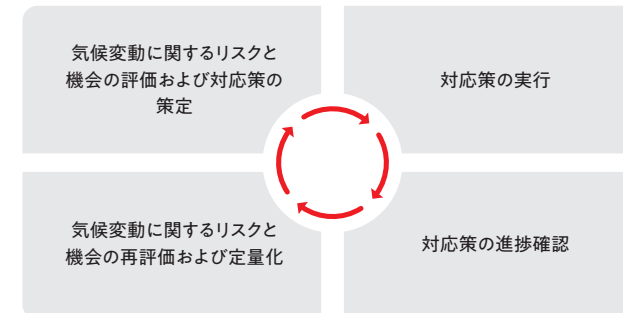
2021年度に国内の主要事業を対象に、TCFDが提言する気候変動シナリオ分析を実施し、気候変動に関する中長期のリスクと機会のインパクト評価(定性)および対応策の検討を行いました。シナリオはIPCC\*1やIEA\*2などの公開情報を参考に、物理面での影響が顕在化する「4℃シナリオ」と移行面での影響が顕在化する「2℃未満シナリオ」を設定し、2030年前後と2050年における気候変動影響を分析した上で、対応策を検討しました。2050年は(株)ロッテがカーボンニュートラルを目指す目標時期であり、2030年前後はそのマイルストーンとして想定しています。今後は、さらに検討を進め、定量的なインパクト評価や、それに基づいたより具体的な対応策の検討を行う予定です。

- \*1 IPCC: 気候変動に関する政府間パネルの略。世界気象機関(WMO)および国連環境計画(UNEP)により1988年に設立された政府間組織で、気候変動に関する最新の科学的知見の評価を提供している。
- \*2 IEA: 国際エネルギー機関の略。1974年に経済協力開発機構(OECD)枠内に設立された国際機関で、複数のシナリオに基づいた世界のエネルギー見直しなどを公表している。

リスク管理

事業に重大な影響を及ぼすリスクに対応するべく、リスク管理委員会を中心とするリスク管理体制(P43)を推進しており、その中で、気候変動を主要な経営リスクとして位置付けています。

気候変動に関するリスクについては、ESG推進部サステナビリティ推進課が担当しており、関連部署および子会社と連携してリスクおよび対応策とその進捗を取りまとめ、リスク管理委員会に年一回以上報告しています。リスク管理委員会はその報告をもとに事業リスクと対応策を検討し、その結果を経営会議および取締役会に報告して意思決定を行っています。



→ 4°Cシナリオにおけるリスクと機会

社会の変化および事業への影響		インパクト	具体的な影響	対応策
自然災害の 激化(一過性)	自社工場・操業	↓↓	自然災害による生産停止、設備損壊	●影響の定量予測を踏まえた緩和策の検討
	サプライチェーン	↓	異常気象や自然災害による 原材料調達不足、原材料価格上昇	●原材料調達産地の多様化 ●サプライヤーとの関係強化による調達安定化 ●影響の定量予測を踏まえたさらなる緩和策の検討
	サプライチェーン	↓↓↓	気温上昇や気象パターンの変化に よる原材料調達不安、原材料価格上昇	
気象パターンの 変化(慢性)	自社工場・操業	↓↓	気温上昇による使用電力増加、 コスト増加	●省エネルギー活動および高エネルギー効率設備の導入 ●影響の定量予測を踏まえたさらなる緩和策の検討
		↓	季節的な降雨量の増加による 生産停止	
	需要の変化	↑↑	気温上昇による製品需要増加	●消費者ニーズを捉えた商品開発、ラインナップの見直し ●生産体制の最適化 ●需要予測精度の向上
		↓	需要予測の難化	

→ 2°C未満シナリオにおけるリスクと機会

社会の変化および事業への影響		インパクト	具体的な影響	対応策
脱炭素社会への 移行	政策・規制	↓↓	炭素価格導入および上昇による オペレーションコスト増加	●再生可能エネルギー由来電力の導入 ●省エネルギー活動および高エネルギー効率設備の導入 ●サプライチェーンと協働での脱炭素推進
		↓↓↓	炭素価格導入および上昇による 原材料価格上昇	●低炭素な原材料の調達および製品への使用 ●影響の定量予測を踏まえたさらなる緩和策の検討
	需要の変化	↑↑	エシカル消費の拡大	●消費者ニーズを捉えた商品開発、ラインナップの見直し ●カーボンフットプリントの導入検討

インパクト: ↓がリスクを、↑が機会を意味する。また、矢印の数インパクトの大きさを示す。

指標と目標

(株)ロッテの事業は、地球環境の恩恵を受けて成り立っており、持続可能な地球環境の実現に貢献することを重大な責務と捉えています。特に、気候変動は事業に与える影響が大きいため重要な経営課題として認識しており、ESG中期目標の中で主要な温室効果ガスであるエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量(Scope1、2)の削減を掲げています。また、2022年にはスScope3についても目標を設定しました。これらはTCFD提言の中で推奨開示項目とされているとともに、2°C未満シナリオにおけるリスクへの対応策に該当します。今後は、さらにシナリオ分析を進め、その対応策に合致した指標と目標を検討していきます。

→ 温室効果ガス排出量削減目標

● Scope1、2: エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量(ESG中期目標)

2028年目標 ▶ 2019年度比23%以上削減(2022年5月SBT\*1認定)  
2050年目標 ▶ カーボンニュートラル

● Scope3: Category\*21、2、4

2027年目標 ▶ サプライヤーへのエンゲージメント  
(2022年5月SBT\*1認定)

● Scope3: Category\*23

2028年目標 ▶ 2019年度比23%以上削減(2022年5月SBT\*1認定)

\*1 SBT: 科学と整合した目標設定の略。パリ協定の水準に整合する温室効果ガス排出量削減目標のことで、SBTi(Science Based Targets initiative)によって目標を設定する企業の認定が行われている。



\*2 GHGプロトコルに基づくScope3の分類(P19)

## 温室効果ガス排出量の削減

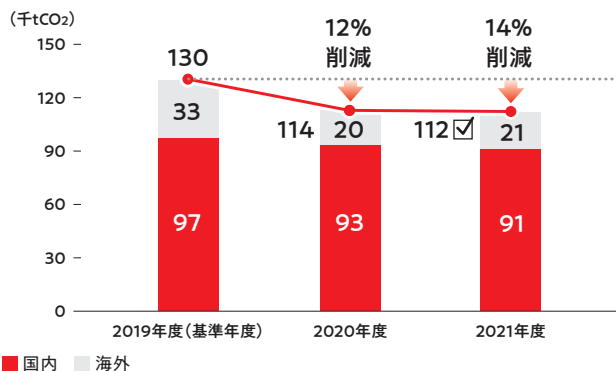
### Scope1、2実績

(株)ロッテでは、2028年度までに主な温室効果ガスであるエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1、2) を2019年度比で23%以上削減することを目標に掲げています。さらに、2050年度までにカーボンニュートラル達成を目指しています。2028年度までの目標は2022年5月にSBT認定を受けています。



2021年度のエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1、2) は、基準年度の2019年度に対して14%削減することができました。継続的な省エネルギー活動に加え、工場への高効率設備導入や工場の一部電力を再生可能エネルギーへ切り替えたことで削減が実現できました。

### エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1、2) 削減率 (2019年度比)



☑の付された数値はデロイトトーマツサステナビリティ株式会社の第三者保証を受けています (P47)。

#### 集計対象

- 国内** 株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカムパニー
- 海外** 主要な海外子会社 (THAI LOTTE CO., LTD.、LOTTE VIETNAM CO., LTD.、PT. LOTTE INDONESIA、LOTTE Wedel sp. z o.o.)

#### 算定方法

Scope1: 排出量 = Σ(燃料使用量 × 排出係数)  
Scope2: 排出量 = Σ(購入電力量等 × 排出係数)

#### 排出係数

- 国内** Scope1は地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく排出係数を、Scope2は同法律に基づく電気事業者別の調整後排出係数を利用しています。
- 海外** Scope1は2006 IPCC Guidelines for National Greenhouse Gas Inventoriesの排出係数を、Scope2はIEA Emission Factors 2021の排出係数を利用し、これらが入手困難な場合は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく排出係数を利用しています。

### Scope3実績

温室効果ガス排出量 (千tCO<sub>2</sub>)

Category	2020年度	2021年度
1. 購入した製品・サービス	631	655
2. 資本財	28	22
3. Scope1、2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	21	21
4. 輸送、配送 (上流)	70	70
5. 事業から出る廃棄物	1	1
6. 出張	1	1
7. 雇用者の通勤	4	4
8. リース資産 (上流)	-*	-*
9. 輸送、配送 (下流)	50	49
10. 販売した製品の加工	-*	-*
11. 販売した製品の使用	-*	-*
12. 販売した製品の廃棄	106	106
13. リース資産 (下流)	-*	-*
14. フランチャイズ	-*	-*
15. 投資	-*	-*
合計	912	927

\* 該当がないため算定対象外としています。  
☑の付された数値はデロイトトーマツサステナビリティ株式会社の第三者保証を受けています (P47)。

#### 集計対象

- 国内** 株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカムパニー
- 海外** 主要な海外子会社 (THAI LOTTE CO., LTD.、LOTTE VIETNAM CO., LTD.、PT. LOTTE INDONESIA、LOTTE Wedel sp. z o.o.)

#### 算定方法

- Category1: 排出量 = Σ(購入した原材料重量 × 排出原単位等1) + Σ(原材料以外の購入した製品・サービスの金額 × 排出原単位等2)
- Category2: 排出量 = Σ(資本財価額 × 排出原単位等2)
- Category3: 排出量 = Σ(エネルギー使用量 × 排出原単位等1または2)
- Category4: 排出量 = Σ(輸送トンキロ × 排出原単位等1) + Σ(輸送トンキロ × トンキロ当たり燃料使用量 × 排出原単位等2) + Σ(輸送距離 / 平均燃費 × 排出原単位等3) + Σ(荷役保管にかかる電力使用量 × 排出原単位等4) 特定荷主以外の輸送はシナリオを用いています。
- Category5: 排出量 = Σ(種類・処理方法別の廃棄物排出量 × 排出原単位等1または2)
- Category6: 排出量 = Σ(従業員数 × 排出原単位等2)
- Category7: 排出量 = Σ(従業員数 × 営業日数 × 排出原単位等2)
- Category9: Category4と同じ
- Category12: 排出量 = Σ(種類・処理方法別の廃棄物排出量 × 排出原単位等1) \* 廃棄物排出量 = 購入した包材重量として算定

#### 排出原単位等

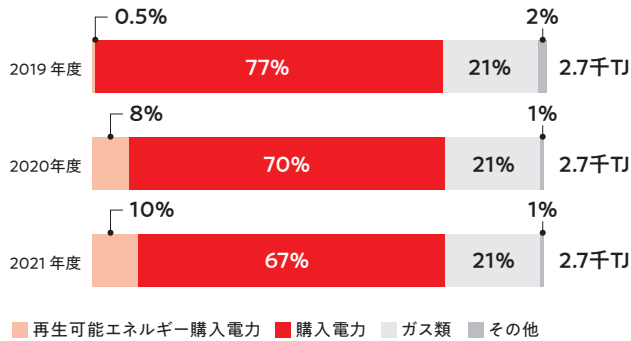
- 1: IDEA v.2.3 (産業技術総合研究所・産業環境管理協会によるGHG排出量データベース)
- 2: サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース Ver3.2 (環境省・経産省)
- 3: エネルギーの使用の合理化に関する法律の特定荷主報告制度で使用される係数
- 4: 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく電気事業者別排出係数の代替値

### 再生可能エネルギーの導入

(株)ロッテの本社ビル(新宿区)では、2019年4月より水力発電由来の電力であるアクアプレミアムに切り替えました。アクアプレミアムは東京電力グループの提供する電力メニューで、再生可能エネルギーである水力を使用しており、発電の際にCO<sub>2</sub>を排出しません。また、国内の工場でも順次導入を進めているほか、ポーランドのロッテウェデルでは2020年2月より再生可能エネルギーである風力発電由来の電力に切り替えました。今後も、再生可能エネルギーの導入によって温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化の防止に貢献していきます。



📊 エネルギー投入量



集計対象

エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1、2)と同じ

省エネルギーの取り組み

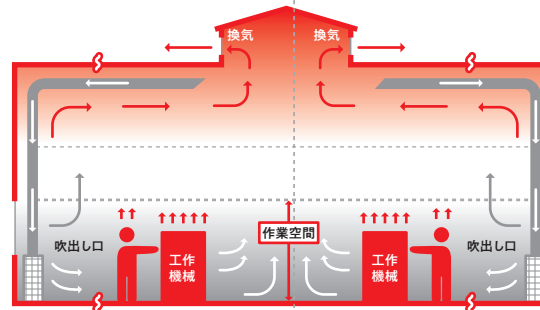
(株)ロッテの工場がエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の半分以上を占めています。各工場における日々の省エネルギー活動に加えて、知恵や工夫に最新技術を掛け合わせて、抜本的な省エネルギー化を実現する設備投資を進めています。2021年度は、浦和工場で貫流ボイラー6台の更新を行い、年間約130tのCO<sub>2</sub>排出量削減を実現しました。



浦和工場 貫流ボイラー

● 空調の工夫

浦和工場のチョコレート加工工程では、2020年より新たな空調システムを導入しています。従来、天井面から冷気を供給し、空調エリア全体を冷却する方式でしたが、新たに導入した空調システムは床面から冷気を供給することで、作業空間(床面から2m)のみを効率的に空調するシステムです。また、制御盤内にも冷気を供給しており、これによって制御盤内が陽圧および一定の温度に保たれ、制御部品が故障しにくいというメリットもあります。空調を工夫することで、省エネルギー、作業環境の改善および制御部品の故障低下を同時に実現しました。



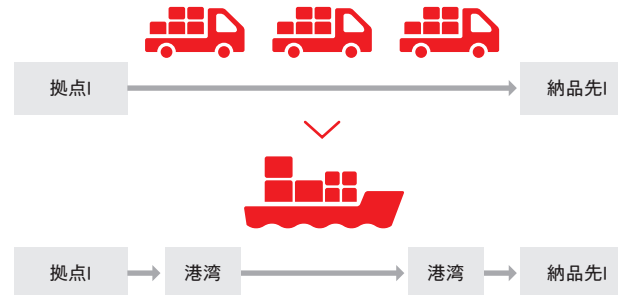
物流における取り組み

(株)ロッテでは、物流に伴う環境負荷の低減に取り組んでいます。荷姿の工夫による積載効率の向上に努めるとともに、共同配送\*1やモーダルシフト\*2を推進することで、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めています。

\*1 共同配送:同業他社や運送業者、倉庫業者などと協力し、商品の配送を共同で行うこと。配送に関わるトラックの必要台数を減らすことで、CO<sub>2</sub>排出量の削減につながる。



\*2 モーダルシフト:トラックによる配送を環境負荷が低く大量輸送が可能な海運または鉄道に転換すること。(株)ロッテでは、この一環として海運の活用を推進しており、現在は九州から大阪および、東京から北海道への輸送に海運を使用することでCO<sub>2</sub>排出量の削減に努めている。



冷媒(フロン類)の管理

(株)ロッテの工場では、冷蔵・冷凍設備等で冷媒としてフロン類を使用しています。フロン類の漏れが地球温暖化に影響することを踏まえ、設備の定期点検によって正しく管理することでリスクの低減に努めながら、地球温暖化係数の低い代替フロンや自然冷媒への転換を計画的に行っています。浦和工場では2019年に自然冷媒であるCO<sub>2</sub>を用いたアイスクリームフリーザーを世界に先駆けて導入しました。さらに2020年には、地球温暖化係数が1の代替フロン(低GWP冷媒 HFO-1233zd(E))を使用した冷水チラー用冷凍機を新たに導入しました。この冷凍機は低圧ターボのため冷媒が漏れにくいという特徴もあります。

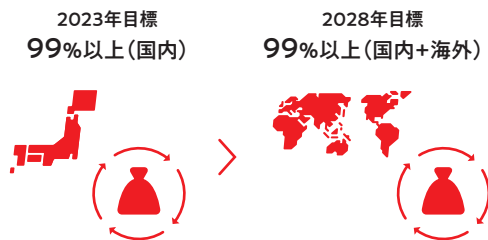


浦和工場 冷水チラー用冷凍機

## 資源循環への貢献

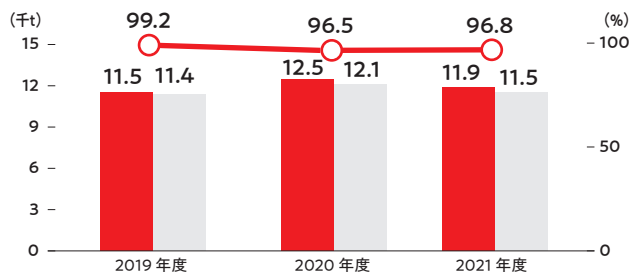
### 廃棄物の削減とリサイクル

(株)ロッテでは、2023年度までに国内工場の生産工程から排出される廃棄物を99%以上リサイクルすること、さらに2028年度までに国内外全ての工場でも実現することを目標に掲げています。



2021年度に国内の主な拠点から排出された廃棄物は12.1千tでした。このうち生産工程から排出された廃棄物は11.9千tでリサイクル率は96.8%でした。今後も廃棄物の発生抑制のためにバリューチェーン全体で取り組むとともに、適切なリサイクルを推進し、リサイクル率99%以上を目指していきます。

### 生産工程から排出された廃棄物の発生量およびリサイクル率



■ 発生量 ■ リサイクル量 ○ リサイクル率(右軸)

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

### FLW(食品ロスおよび食品廃棄物)の削減

(株)ロッテでは、2028年度までに本業である菓子・アイス事業においてFLW(食品ロスおよび食品廃棄物)発生量対販売量原単位を2019年度比50%以上削減することを目標に掲げています。



#### FLW発生量および原単位

2019年度(基準年度)	FLW発生量3.3千t 原単位0.013
2020年度	FLW発生量3.1千t 原単位0.012(基準年度比5.3%削減)
2021年度	FLW発生量2.8千t 原単位0.011(基準年度比14%削減)

#### 集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー、主要な海外子会社

#### 算定方法

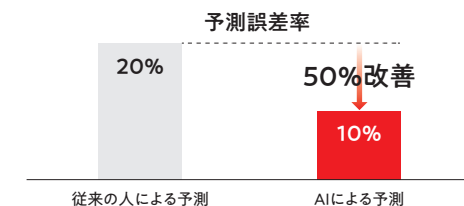
FLW発生量= 自社工場での食品および不可食部分の廃棄量 + 出荷前および返品された製品の廃棄量  
原単位=FLW発生量/(販売量+FLW発生量)  
WRI Food Loss & Waste Protocolを参考に測定しています。  
送り先のうち、動物の飼料および生物由来物質/生化学処理は他の送り先に比べ相対的に価値が高いため、目標の対象とするFLWには含めていません。

この目標の達成のために、3R(Reduce:リデュース、Reuse:リユース、Recycle:リサイクル)を実践して、事業活動で発生するFLWの削減に取り組んでいます。

### ● Reduce:リデュース

FLWを削減するためには、FLWを発生させないことが最も重要です。そのために、(株)ロッテではAIを活用した需要予測の実現に向けた検証をスタートさせました。夏季のアイス販売予測の誤差率を低減することに成功したため、今後は適応範囲を拡大していきます。需要と供給のズレを最小化することで、過剰在庫や返品によって生じるFLWの削減を推進しています。その他にも、賞味期限の延長や年月表示化、生産工程でのロス削減などにも取り組んでいます。

### 🔍 アイスクリーム既存製品の販売予測検証結果



### ● Reuse:リユース

FLWを削減するため、食の有効活用にも取り組んでいます。食べ物に困っている人や福祉施設などに食品を無償で提供する取り組みをフードバンクといいます。私たちはこの活動に賛同し、NPO法人を通じて自社製品寄贈の協力を行っています。この取り組みは「おいしい」「たのしい」という食の喜びを伝える一助となるだけでなく、食の有効活用にもつながる有意義な取り組みと考え、今後もフードバンク活動への協力を継続していきます。

### ● Recycle:リサイクル

発生した廃棄物については、できるだけ価値の高い有効利用を行っています。廃棄物の飼料化は価値の高い利用方法ですが、過剰在庫や返品された製品は容器包装が課題となり、飼料化がなかなか進みませんでした。2021年度から包装されたまま受け入れ可能な設備を持つ施設と協力して、飼料化を推進しています。

● FLW削減に向けた連携

(株)ロッテは10×20×30食品廃棄物削減イニシアティブ\*日本プロジェクトに参加しています。サプライチェーン全体で連携しながら削減に取り組むとともに、様々な企業との情報交換を行いながらFLW半減の目標に向かって取り組んでいます。

\* 10×20×30食品廃棄物削減イニシアティブ:地球環境と開発に関する政策研究・技術開発を行うアメリカのシンクタンク World Resources Institute (WRI)の呼びかけのもと、サプライチェーン全体で食品廃棄物の半減を目指すイニシアティブです。「10×20×30」とは、世界の大手小売業等10社が、それぞれの20社のサプライヤーとともに、2030年までに主要サプライヤーの食品廃棄物の半減に取り組むということを意味します。日本プロジェクトでは、イオン(株)が大手小売業として取り組みを主導し、(株)ロッテはそのサプライヤーとして参加しています。



原材料調達実績

→ 製品の原材料調達量(千t)

	2019年度	2020年度	2021年度
原材料合計	275	270	271
原料	206	202	204
包材	69	68	68
紙	49	50	49
プラスチック	15	14	14
その他	5	4	4

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー、主要な海外子会社

容器包装の環境配慮

(株)ロッテでは、製品の容器包装は環境に配慮して設計しています。本来の機能である品質保護性を担保した上で、できるだけ原材料の使用量を削減するなどの省資源化やリサイクルしやすい容器包装の開発に取り組んでいます。また、バリア性を向上させることによって賞味期限を延長させ、FLWの削減にも取り組んでいます。さらに、製品を効率的に積載することにより物流効率を高め、輸送による温室効果ガスの排出量削減に貢献できるよう設計しています。

● プラスチック容器包装

近年、プラスチックについては、気候変動およびプラスチックごみによる海洋汚染などについて世界規模で議論されています。(株)ロッテでは、ロッテプラスチック基本方針を策定し、プラスチックの資源循環に貢献できるよう取り組みを推進しています。プラスチック使用量の削減とともに、取引先と協力してプラスチックの資源循環に貢献できる新技術の開発にも取り組みます。

ロッテプラスチック基本方針

- 石油由来プラスチックの使用量を削減に努めます。
- リサイクル原料の使用を推進し、プラスチックの資源循環に貢献します。
- リサイクルしやすいプラスチック包材(モノマテリアル)の使用を推進し、プラスチックの資源循環に貢献します。

2021年はキシリトールガムなどの主要なボトルガム商品に使用しているプラスチックボトル容器について、プラスチック使用量の削減を行いました\*1。胴体部のプラスチック重量を21.8%削減し、年間で約103.7t\*2のプラスチック使用量を削減することができると見込みです。今後もプラスチック使用量の削減の施策を継続して環境に配慮した包材の模索・検討を行っていきます。

\*1:2021年3月生産分より順次。生産の都合上、一時的に減量前のボトル容器が流通する場合があります。

\*2:2019年度の販売実績をもとに試算。



また、2021年より、資源循環の取り組みの一環として、Loopに参加し、キシリトールガムを繰り返し使用できるリユース可能な容器で販売しています。Loopは、これまで使い捨て容器で販売されていた食品や日用品をリユース可能な容器で販売する循環型ショッピングプラットフォームです。「捨てるという概念を捨てよう」というミッションを掲げるソーシャルエンタープライズであるLoop Japan合同会社(ループ・ジャパン)がLoopを展開しています。ループ・ジャパンはLoopを通じて使い捨てプラスチックを削減するのみならず、「使い捨て文化」からの脱却を目指しています。Loopはすでに世界4カ国(米、仏、英、加)で展開されており、2021年より日本でサービスを開始しました。



● 紙容器包装

紙の容器包装についてもプラスチックと同様に、できる限り使用量を削減し、省資源化に努めています。また、使用する紙原料については、再生紙やFSC(森林管理協議会)認証などの第三者認証紙といった環境に配慮した紙原料の使用を進めています。

● スマイルエコマーク

(株)ロッテでは、様々な容器包装を通じた環境配慮への取り組みについて、お客様に分かりやすくお伝えするために、2022年より独自の環境配慮基準をクリアした製品にスマイルエコマークを順次表示しています。スマイルエコマークのデザインは、地球環境への配慮を葉のモチーフで表現し、自社製品で人々を笑顔にしたいという思いを込めて、スマイルエコのコピーとマークが生まれました。

▶ スマイルエコマーク

<https://lotte-land.jp/publisher/smileeco/>



## ◆ 生物多様性への配慮

### 生産拠点における生物多様性リスク評価

(株)ロッテおよび子会社の生産拠点(国内8拠点、海外4拠点)について、IBAT<sup>\*1</sup>を用いて、半径10km以内を(世界遺産、ラムサール条約湿地、ユネスコMAB<sup>\*2</sup>、IUCN保護管理カテゴリー(I~V)<sup>\*3</sup>、KBA<sup>\*4</sup>、IUCNレッドリスト<sup>\*5</sup>)調査し、生物多様性リスク評価をしました。KBAなどの近接拠点はあるものの、現時点(2022年3月末)で当社の事業活動が直接生物多様性を損なうような事例は確認されていません。引き続き、生産拠点のある地域の環境を踏まえ、生物多様性の配慮を行っています。

\*1 IBAT:生物多様性リスク測定ツール(Integrated Biodiversity Assessment Tool)の略。

\*2 ユネスコMAB:ユネスコ人間と生物圏(Man and the Biosphere)計画の略で、生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)を定めている。

\*3 IUCNカテゴリー:IUCN(国際自然保護連合)の考える保護地域の定義ならびに保護対象により6つに分類された保護地域管理カテゴリー。

- カテゴリーIa:厳正保護地域
- カテゴリーIb:原生保護地域
- カテゴリーII:国立公園
- カテゴリーIII:天然記念物
- カテゴリーIV:種と生息地管理地域
- カテゴリーV:景観保護地域
- カテゴリーVI:資源管理地域

\*4 KBA:生物多様性の保全の鍵になる重要な地域(Key Biodiversity Area)の略。

\*5 IUCNレッドリスト:「危急VU(Vulnerable)」以上の種が1種類以上生息する拠点を対象とした。

### → 生物多様性リスク評価

2022年3月末時点

	国内拠点	海外拠点	合計
世界遺産	0	0	0
ラムサール条約湿地	2	0	2
ユネスコMAB	0	0	0
Ia	0	0	0
Ib	0	0	0
IUCN カテゴリー			
II	0	0	0
III	0	0	0
IV	8	1	9
V	5	1	6
KBA	3	1	4
IUCNレッドリスト	3	0	3

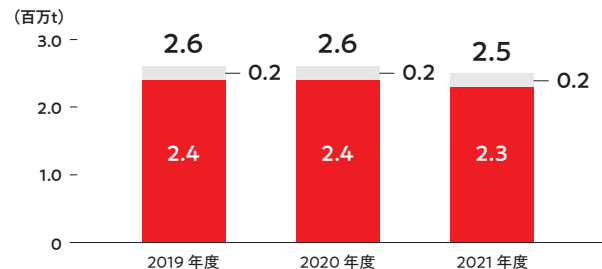
#### 集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー、主要な海外子会社

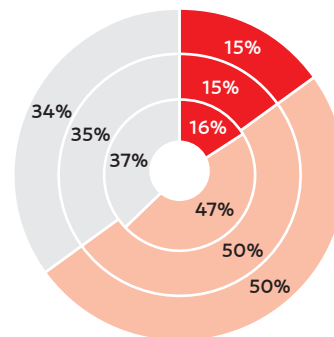
## ◆ 水資源

### 水使用実績

#### 📊 水使用量



#### 📊 水使用比率(内:2019年度 中央:2020年度 外:2021年度)



■ 市水 ■ 工場用水 ■ 井水

#### 集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニーの主要な拠点、主要な海外子会社の工場

### 水リスク

WRIのAQUEDUCT Water Risk Atlasを使用して水リスク評価を行っており、2022年3月末時点で(株)ロッテおよび子会社の自社工場所在地のリスクレベルがExtremely Highのレベルにはないことを確認しました。引き続き現地情報のヒアリングや水使用量などの継続的な評価を行い、リスク低減の対策を検討していきます。

## ◆ 環境マネジメント

### 推進体制

(株)ロッテESG推進部サステナビリティ推進課が事務局となり、グループ全体の環境活動を推進しています。また、(株)ロッテ経営会議では、環境に関する重要な方針や中期目標の検討、目標の進捗確認などを行っています。さらに、(株)ロッテの工場(浦和工場、狭山工場、九州工場、滋賀工場)では環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、これに基づいたマネジメントを行っています。

### 環境監査

(株)ロッテの工場(浦和工場、狭山工場、九州工場、滋賀工場)では、環境に関する内部監査を毎年実施しています。内部監査は社内で認定された主任監査員および監査員がISO14001に基づいたチェックリストに照らして行っています。監査で指摘された改善の機会を踏まえ、各工場では継続的な改善に努めています。

### 環境教育

環境に対して適切に対応するため、(株)ロッテでは工場勤務する全ての従業員へ環境教育を行っています。また、環境教育の効果と環境活動の実効性を高めるために、環境教育の評価制度を導入しています。さらに環境管理責任者やISO14001事務局と生産戦略部技術開発課は定期的な打ち合わせを行い、環境に関する情報共有やレベルアップを図っています。

### 環境事故および法令違反

万が一、環境に関する事故や法令違反が発生した場合には、関係各部署や行政などと協力し、速やかに対応を講じる仕組みを整備しています。2021年度は、環境に関わる重大な事故や法令違反は発生しませんでした。



# Social 社会



企業理念のミッションで、「世界中の人々の豊かなくらしに貢献します」と掲げています。事業活動を通じて関わる様々なステークホルダーに与える負の影響を軽減することはもちろん、製品やサービスの提供を通じて豊かなくらしに貢献するCSV(共通価値の創造)に取り組んでいます。

- ◆ 人権
- ◆ 食と健康
- ◆ 食育
- ◆ 食の安全安心
- ◆ 持続可能な調達
- ◆ アニマルウェルフェア
- ◆ 従業員の能力発揮
- ◆ 労働安全衛生
- ◆ 支援活動
- ◆ 子会社の取り組み

## ◆ 人権

### 基本的な考え方

(株)ロッテおよび子会社では、人権の尊重を前提に全ての企業活動を行っています。直接的な人権侵害を一切行わないことはもちろん、ステークホルダーと協力し、事業活動が間接的に人権侵害に加担することがないように努めています。2018年には人権方針を制定し、人権尊重の考え方を明文化しました。

▶ (株)ロッテ 人権方針

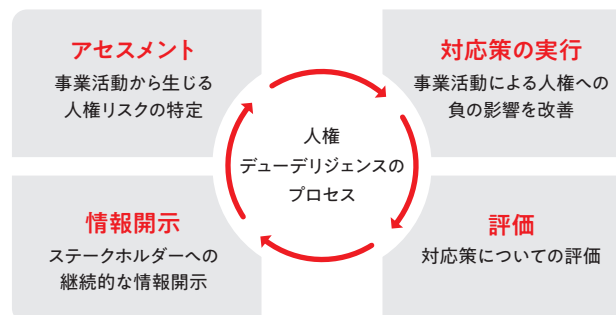
<https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/humanrights.html>

### 人権デューデリジェンス

事業とサプライチェーン全体で影響を受ける人々の人権尊重のため、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」の手順に従い、人権デューデリジェンスの実施を進めています。2019年度に人権リスクアセスメントと実態把握調査を行い、優先的に取り組むべき人権リスクを特定しました。まず、国際基準やガイドライン\*1に基づき、事業活動から生じる人権リスクについてアセスメント\*2を実施し、潜在的な人権課題を抽出しました。抽出された人権課題について、(株)ロッテおよび子会社、サプライヤー等に対して質問票を用いた実態把握調査を行い、人権リスクを特定しました。2020年度より、これらに対する対応策を実行し、その進捗状況について開示を進めています(P25人権リスクへの対応の進捗状況)。2022年度下期以降に、改めて人権リスクアセスメントを実施する予定です。

\*1 国連グローバル・コンパクト10原則、GRIスタンダード、国連ビジネスと人権に関する指導原則、責任ある企業行動のためのOECDデュー・デリジェンスガイダンス等。

\*2 データポイントとして、ITUC-Global Rights Index、Global Slavery Index等を使用。



### 人権マネジメント体制

事業に重大な影響を及ぼすリスクに対応するべく、リスク管理委員会を中心とするリスク管理体制(P43)を推進しており、その中で、人権を主要な経営リスクとして位置付けています。

人権に関するリスクについては、ESG推進部担当執行役員を責任者として、ESG推進部サステナビリティ推進課が担当しており、関連部署および子会社と連携してリスクおよび対応策とその進捗を取りまとめ、リスク管理委員会に年一回以上報告しています。リスク管理委員会はその報告をもとに事業リスクと対応策を検討し、その結果を経営会議および取締役会に報告して意思決定を行っています。

### 従業員への啓発

(株)ロッテおよび国内子会社では、2021年より全社員を対象に人権研修をeラーニングで実施しています。差別の禁止など人権に関する基本的な理解を促進するとともに、ケーススタディを用いて事業活動において具体的に注意すべき事項についても説明しています。また、海外子会社向けには人権リーフレットを配布して、人権方針の周知と内容理解を促進しています。

また、(株)ロッテでは、全社員を対象にハラスメント防止研修を実施しています。あらゆる差別およびハラスメントを禁止した人権方針に従って、ハラスメントに関する理解を促進し、ハラスメントのない職場環境を実現することを目的に研修を行っています。パワーハラスメントやセクシャルハラスメントはもちろん、性的指向および性自認に関するハラスメント(SOGIハラスメント)についても行わないよう説明しています。万が一、被害にあった際の相談窓口についても説明しており、管理職に対しては、相談窓口が報告があった際の対応フローについても説明しているほか、新入社員を対象にハラスメントの相談窓口についての研修を行っています。

### 相談窓口の設置

(株)ロッテおよび子会社では、内部通報制度の窓口であるクリーンライン(P44 内部通報制度)を社内外に設置し、従業員からの相談および通報を受け付けています。

## ◆ 食と健康

### 基本的な考え方

(株)ロッテは、創業以来培ってきた知見や技術を活かし、地域や社会に新たな価値を提供することで、成長し続けてきました。例えば、1997年発売の「キシリトールガム」は、歯を丈夫で健康に保つという新しい健康価値を生み出し、社会に貢献してきました。引き続き、身体はもちろん、心の健康にも役立つ製品の研究・開発や情報発信・啓発活動に注力し、私たちが大切にしてきた「おいしさ」を軸に、食で健康価値を提供し、社会課題の解決に貢献していきます。2018年にはサステナビリティ方針を制定し、この考え方を明文化しました。

▶ ロッテ サステナビリティ方針

<https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/sustainability.html>

### 「噛むこと」の普及

(株)ロッテは、戦後にチューインガムで創業し、今日まで「噛むこと」についての研究を重ねてきました。その結果として、「噛むこと」が全身の健康と密接に関わっていることが分かってきました。「噛むこと」が健康に与える良い影響について研究・発信し、「噛むこと」の普及を通して人々の豊かな生活に貢献していきます。

これを実現するための目標として、2023年度までに国内で「噛むこと」を意識して実践している人の割合を35%以上に拡大すること、さらに2028年度までに50%以上に拡大することを掲げています。

2023年目標  
35%以上

2028年目標  
50%以上



2020年7月調査	21%
2021年5月調査	20%
2022年5月調査	20%

3,000人を対象としたインターネット調査(ロッテ調べ)

### → 人権リスクへの対応の進捗状況

	特定した人権リスク	具体的懸念事項	対応策	進捗		関連ページ
				進捗	今後の予定	
自社オペレーション(国内)	差別的禁止とハラスメントの防止	従業員への人権教育が不足	人権研修の実施	2021年度に(株)ロッテおよび国内子会社の全社員を対象にeラーニングを実施	年一回の研修を継続	P24
		LGBTQや障がい者などのマイノリティへの取り組みが不足	理解促進のための研修の実施と取り組みの検討	障がい者理解促進およびLGBTQ理解促進研修を実施	LGBTQの方も利用対象に含めた福利厚生制度の検討、障がい者の雇用拡大と受け入れ環境整備	P35
自社オペレーション(海外)	差別的禁止とハラスメントの防止	人権リスク把握が不十分	東南アジア拠点の人権リスク把握	人権リーフレットの配布による啓発と従業員匿名アンケートの実施	従業員匿名アンケート結果をもとに課題の抽出と対応策の検討	-
サプライチェーン	差別的禁止とハラスメントの防止 強制労働および児童労働の禁止 労働者の基本的権利の尊重 先住民族および地域住民の権利尊重	サプライチェーンの管理体制が不足	Sedex*を用いたサプライヤー管理	原材料取引金額53%のサプライヤーと情報管理のための紐づけ完了(2022年6月時点)	サプライヤーのSedex加入促進と継続管理	P31
		カカオ豆の生産地域における児童労働	フェアカカオの調達を通じた児童労働のモニタリングと是正支援	フェアカカオ調達実績19%(2021年度)	目標の達成に向けた取り組みの推進	P32
		パーム油の生産地域における強制労働および児童労働	第三者認証油の調達を通じた生産地支援	第三者認証油調達実績18%(2021年度、国内)	目標の達成に向けた取り組みの推進	P33

\* Sedex: サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム (Supplier Ethical Data Exchange) の略。2004年に英国で設立された、サプライチェーンにおける責任あるビジネス慣行の実現を目指し、企業の倫理情報を管理・共有するためのプラットフォームを提供する非営利団体。

この目標の達成のために、「噛むこと」の研究と成果発信を専門に行う噛むこと研究部を設置しています。「噛むこと」が全身の健康と密接に関わっていることが分かっており、健康長寿やウェルビーイング(充実した人生)といった様々な社会課題の解決に活かすことができると考えています。そして、「噛むこと」のソリューションツールとして、チューインガムの普及にもつなげています。

さらに、2018年度より「噛むこと」と全身の健康について研究および情報交換のネットワークを構築することを目的に噛むこと健康研究会を発足しました。歯学だけでなく、医学や栄養学、スポーツ学など異分野の研究者が協力して「噛むこと」について多面的に研究する新たな試みで、健康に資する噛む回数を目安なども検討しています。



## 「噛むこと」と全身の健康

(株)ロッテが長年「噛むこと」についての研究を行ってきた結果として、「噛むこと」が全身の健康と密接に関わっていることが分かってきました。「噛むこと」が健康に与える良い影響についての研究成果の一部をご紹介します。

### ● 食前の咀嚼が食後の血糖値に良い影響を与える

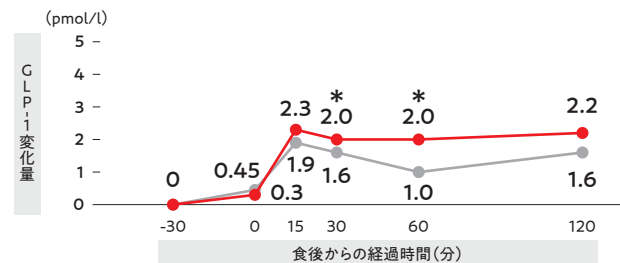
食べ物に含まれる糖質によって食後は血糖値が上昇し、血糖値を一定に保とうとする身体の機能により、血糖値はやがて元に戻ります。糖質の多い食習慣によって、この機能に負担がかかると、糖尿病などの生活習慣病につながると言われています。

食事中によく噛むことは血糖値に対して良い効果があることが知られていますが、2020年に発表された研究では、食前の咀嚼が食後の血糖応答に良い影響を与えることが報告されています。

健康な成人男性を対象として血中成分を比較した研究で、ごはんの前に味の無いチューインガムを15分間咀嚼した際は、咀嚼しなかった時と比べて、食後のGLP-1\*血中量が有意に上昇しました。また、食直後の血糖値低下と、食後15分のインスリンの血中量上昇が確認されました。

\* GLP-1:インクレチンと呼ばれるホルモンの一種。インスリン分泌促進作用や消化管運動調整作用、内臓保護作用など、身体に良い影響が報告されている。

### 📊 GLP-1血中量の変化



● チューインガム咀嚼なし ● チューインガム咀嚼あり

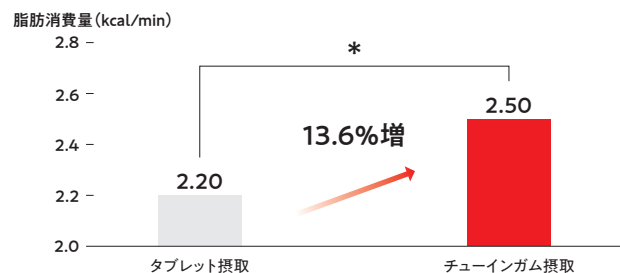
\* 統計学的に有意差あり(P<0.05)  
出典: Takahara M, Fukuda M, Matsuzawa Y, Shimomura I. Effect of tasteless calorie-free gum chewing before meal on postprandial plasma glucose, insulin, glucagon, and gastrointestinal hormones in Japanese men without diagnosed glucose metabolism disorder: a pilot randomized crossover trial. Diabetology International. 2020; 11: 394-402.

### ● 歩行中のチューインガム咀嚼により脂肪消費量が増加

チューインガムを咀嚼しながら歩行運動を行うことで、脂肪の消費量が増加することが報告されています。

20~60代の男女を対象として歩行運動中の身体機能や生理機能を比較した研究で、チューインガムを咀嚼しながら歩行運動を行った際は、タブレットを摂取しながら歩行運動を行った際に比べ、脂肪消費量が増加しました。さらにエネルギー消費量の増加も確認されました。

### 📊 歩行運動中の脂肪消費量の変化



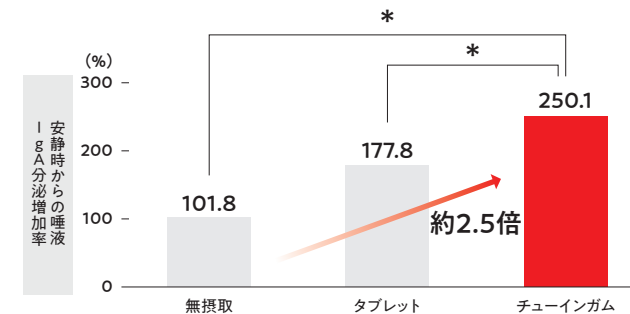
\* 統計学的に有意差あり(P<0.05)  
出典: Kanno S, Shimo K, Ando T, Hamada Y, Miyashita Y, Osawa K. Gum chewing while walking increases fat oxidation and energy expenditure. J Phys Ther Sci. 2019; 31(5): 435-439.

### ● チューインガム咀嚼により唾液に含まれるIgA分泌が増加

唾液中にはIgAという免疫物質が存在しています。IgAは口の中に入ってきたウイルスや細菌などの異物に対する最初の防御機構の役割を担っており、異物の体内への侵入を阻止しています。チューインガム咀嚼を行うことで、唾液量とそれに含まれるIgAの分泌量が増加することが報告されています。

チューインガム咀嚼時の唾液量とIgA分泌量を測定した研究で、ガムを咀嚼することで、唾液の分泌が促進され、口腔内のIgA分泌量が無摂取と比較して約2.5倍(5分間咀嚼時)に増加することが確認されました。

### 📊 チューインガム咀嚼によるIgA分泌量の変化



\* 統計学的に有意差あり(P<0.05)  
出典: 松井美咲, 菅野範, 大澤謙二, 小林弘幸. ガム咀嚼による唾液中S-IgA分泌の影響—オープンランダム化クロスオーバー試験—薬理と治療. 2020; 48(12): 2161-2166.

## 歯と口の健康

チューインガムで創業した(株)ロッテは、歯と口の健康について長年研究を重ねてきました。1970年代には、フィンランドで歯の健康に役立てられていたキシリトールに着目し、研究を開始しました。1997年にキシリトールが日本で食品添加物として認可されると、いち早く製品化し、広くお客様にお届けすることで、「むし歯のない社会へ。」という社会課題の解決に貢献してきました。今後もキシリトールが歯と口の健康に与える良い影響についての研究と普及を通して、人々の豊かな生活に貢献していきます。

これを実現するための目標として、私たちは、2028年度までに国内で歯と口の健康のためにキシリトールを生活に取り入れている人の割合を50%以上に拡大することを掲げています。



2028年目標  
50%以上

2020年7月調査	32%
2021年5月調査	32%
2022年5月調査	28%

3,000人を対象としたインターネット調査(ロツテ調べ)

この目標の達成のために、「その歯と100年。キシリトールプロジェクト」を2020年にスタートしました。予防歯科の先進国であるフィンランドにならい、自治体や地元歯科医師会とともに「歯磨き・フッ化物・キシリトール」に「定期的な歯科健診」を加えた口腔ケア習慣を普及させる活動を行っています。

その歯と100年。キシリトールプロジェクト概要

活動目標

ESG 中期目標の達成

活動目的

「歯磨き・フッ化物・キシリトール+ 定期健診」を普及させ、「キシリトールを通じ日本の歯の健康維持に貢献する」

活動内容

1. 歯科医師会や自治体と連動したむし歯予防プログラムの推奨
2. 幼稚園・保育園等教育機関へのキシリトール入りタブレットやラムネの提供

第1弾として、福島県会津若松市にご理解いただき、市内の保育園および幼稚園にキシリトール入りのタブレットやラムネと、専用サーバーを提供しました。幼児期からの口腔ケア習慣の定着を促すとともに、市内の歯科医師会と連携して園児たちのむし歯の保有率に関する情報をもとにした活動も検討していきます。



キシリトールについて

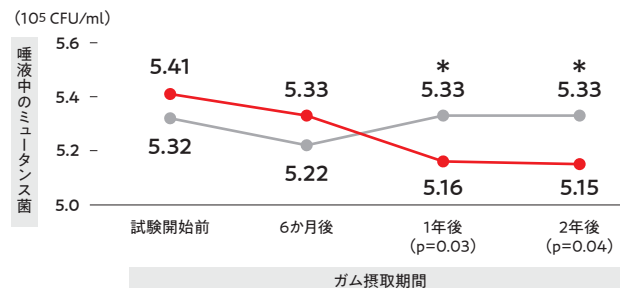
キシリトールは、むし歯の原因となる酸を作らない糖アルコールの一種で、白樺や樅などの樹木や植物から作られる成分です。砂糖と同じくらいの甘味がありますが、キシリトールのカロリーは約3キロカロリー/gと、約4キロカロリー/gの砂糖と比べて少なめです。また、スツとした爽やかな冷涼感が特徴です。

● ミュータンス菌を減らす

ミュータンス菌はほとんどの人の口の中に潜んで歯垢を作り、口の中の糖分をエサとして繁殖し、むし歯の原因となる酸を作り出します。キシリトールは口の中のミュータンス菌を減らし、むし歯のリスクを減らす効果が報告されています。

ミュータンス菌が多い成人を対象とした研究で、キシリトールを含むガムを1年間摂取し、その後1年間ガムを摂取せずに経過観察を行った群は、対照群に比べ、唾液中のミュータンス菌が減少し、むし歯の進行が抑えられました。

🔍 キシリトール含有ガム摂取後の唾液中ミュータンス菌の変化

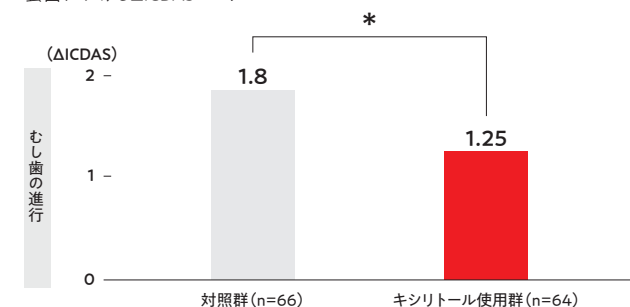


● 対照群 (n=66) ● キシリトール使用群 (n=64)

\* 統計学的に有意差あり

🔍 むし歯の進行に対するキシリトール摂取の効果

全試験期間(ガム摂取期間1年間と追跡期間1年間)の重度う蝕歯、充填歯、抜去歯におけるΔICDASスコア



\* 統計学的に有意差あり (P=0.01)

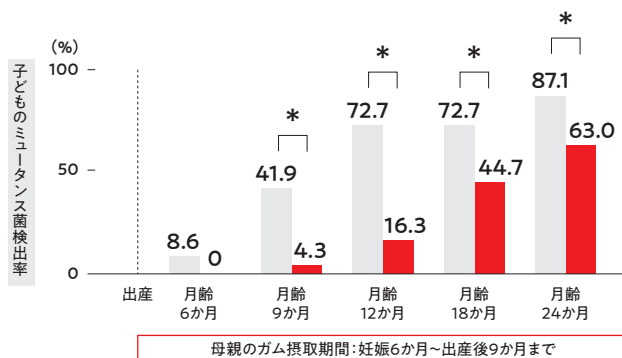
出典: Cocco, F., Carta, G., Cagetti, M.G. et al. Clin Oral Invest(2017) 21: 2733. ©2017 The Author(s); Creative Commons Attribution 4.0 International License.

キシリトール使用群は、キシリトールを30%含むガムを1日6粒、1日当たり2.5gのキシリトールを1年間摂取した後、1年間ガムを摂取せずに経過観察した。対照群は、キシリトールを含まないガムを1年間摂取した後、1年間ガムを摂取せずに経過観察した。

● 母子伝播のリスクを軽減する

ミュータンス菌は生まれたばかりの赤ちゃんの口の中には存在しませんが、大人と同じスプーンを使用した際などに、だ液を通じて伝播し、赤ちゃんの口に定着してしまいます。ミュータンス菌を減らす力がある成分キシリトールを、お母さんが妊娠中から摂り続けていると、赤ちゃんへのミュータンス菌の伝播を遅らせることが報告されています。ミュータンス菌が多い妊婦を対象とした研究で、対照群は歯磨き指導や食事指導を含む保健指導を受け、キシリトール群は保健指導に加え、甘味料としてキシリトールのみを配合したガムを13か月間摂取しました。キシリトール摂取量は1日当たり5g以上を目標としたが、実際の平均摂取量は3.83gでした。子どものミュータンス菌検出率を評価したところ、キシリトール群は、対照群に比べ、生後9か月から24か月までの間、ミュータンス菌が検出される割合が有意に少ないことが分かりました。

**母親のキシリトール摂取と子どものミュータンス菌検出率**



■ 対照群 ■ キシリトール群

\* 統計学的に有意差あり

出典: Nakai Y, et al. Xylitol Gum and Maternal Transmission of Mutans Streptococci. Dent Res 89(1): 56-60, 2010  
ミュータンス菌が多い妊婦を対象とした研究

**消費者志向経営**

(株)ロッテは、創業以来大切にしてきた3つの価値(ロッテバリュー)のいちばん初めにユーザーオリエンテッド(お客様第一)を掲げて事業活動を行ってまいりました。2021年には消費者志向自主宣言を行い、この考え方を明文化しました。



▶ (株)ロッテ 消費者志向自主宣言

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/ourapproach/customerfirst.html>

**消費者志向経営優良事例表彰**

(株)ロッテは、消費者庁が主催する「令和3年度 消費者志向経営優良事例表彰」において「消費者庁長官表彰」(特別枠)を受賞しました。消費者庁が主催する同表彰は、消費者志向自主宣言を公表し、その宣言に基づいた優れた取り組みを行っている企業を表彰するものです。今回、(株)ロッテのキシリトールや噛むことの研究と啓発活動の取り組みが高く評価され、受賞に至りました。



**選考理由(消費者庁発表)**

歯科医師会や自治体と連携して「キシリトール」を配合したチューインガムを用い、「ガムはむし歯になりやすい」という概念を覆すむし歯予防に取り組んでいる。また、チューインガムを通じて「噛むこと」による口腔機能の改善を図り、介護予防・認知症予防など健康寿命の延伸を目指す取組もしている。

**食育**

**考え方と目標**

(株)ロッテでは、食は健康の源と考え、正しい食に関する知識や理解を深める食育活動に様々な機会を通じて取り組んでいます。2023年度までに食育体験者を年間10万人以上に、さらに2028年度までに年間15万人以上に拡大することを掲げています。



**食育体験者数**

2019年度	6.3万人	うち工場見学3.6万人
2020年度	4.1万人	うち工場見学0人
2021年度	4.6万人	うち工場見学0人

集計対象

株式会社ロッテ

**工場見学**

(株)ロッテの浦和工場では、工場見学を受け入れています\*。工場見学では、製造の現場を実際に見学していただくとともに、SDGsへの貢献の取り組みなどをご説明しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年2月より2022年4月まで工場見学を休止しておりましたが、休止期間中に来場者様へ感動体験をさらにお届けできるよう見学施設の大規模リニューアルを行いました。生まれ変わった浦和工場の見学施設「おかしな学校」にぜひお越しください。

\* 新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、工場見学を休止する場合があります。



▶ (株)ロッテ 工場見学ホームページ

<https://www.lotte.co.jp/kengaku/>

また、(株)ロッテでは、リモートチョコレートセミナーを行っており、全国各地のお客様がオンラインでご参加いただけます。原材料や製造方法についてのこだわりや工夫を紹介しており、クイズ形式の質問も交えながら、リアルタイムかつ双方向のコミュニケーションで、楽しくチョコレートについて学ぶことができます。さらに、いつでもご覧いただけるバーチャル工場見学をホームページ上に開設しており、原材料の調達や加工から製品が完成するまでの工程を、図や動画とともに分かりやすくご紹介しています。



▶ リモートチョコレートセミナーホームページ

<https://www.lotte.co.jp/kengaku/remote-seminar/>



▶ バーチャル工場見学ホームページ

<https://www.lotte.co.jp/entertainment/factory/>

## 出張授業

(株)ロッテでは、小学校へのお出張授業を行っています\*。製品開発をする上で大切な考え方などを楽しく学んでいただき、子どもたちにはおかし開発のワークを通して、新しいアイデアを考えてもらうなど、創造的発想力の育成につながる授業を行っています。

\* 授業実施の際には換気・消毒など新型コロナウイルス感染拡大対策を十分に講じています。



## 教材提供

(株)ロッテでは、小学校での食育についての授業で活用いただける教材の提供を行っています。「噛むこと」と健康をテーマに、楽しく実践しながら食育を学ぶことができるロッテオリジナルの教材です。



## ◆ 食の安全・安心

### 基本的な考え方

(株)ロッテは、創業以来大切にしてきた3つの価値(ロッテバリュー)の一つにクオリティ(最上の品質)を掲げており、常に食の安全・安心に努めてきました。さらに、製品づくりにあたっては、安全・安心で高品質であることはもちろん、「楽しさ」「おいしさ」「やすらぎ」の付加価値が感じられることも不可欠であると考えています。それら全てを私たちの実現すべき「品質」であるとみなし、全従業員で取り組んでいます。2018年には品質方針および食品安全方針を制定し、この考え方を明文化しました。

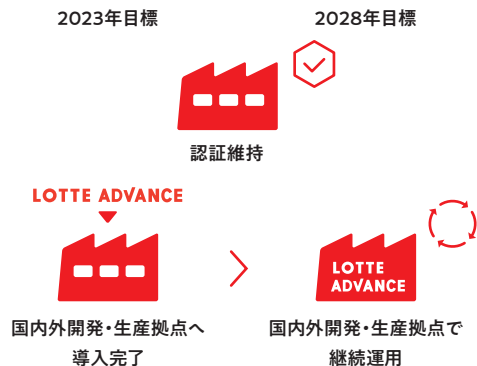
▶ ロッセ品質方針・食品安全方針

<https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/quality.html>

### 新品質保証システム LOTTE ADVANCE(ロッテアドバンス)

すでに、(株)ロッテ、(株)メリーチョコレートカンパニーおよび海外子会社の全ての工場において、国際的な食品安全認証であるGFSI\*1承認スキーム(FSSC22000\*2/BRC\*3)認証を取得しており、この認証を適切に運用し維持することを目標に掲げています。また、さらなる品質の向上と高い安全性の確保を目指し、2023年度までに独自の新品質保証システムLOTTE ADVANCE(ロッテアドバンス)を構築し、国内外全ての開発・生産拠点に展開することを目標に掲げています。

\*1 GFSI: 世界食品安全イニシアチブ(Global Food Safety Initiative)の略。食品安全システムの継続的改善を目的に2000年5月に設立された国際的な非営利団体。  
\*2 FSSC22000: 食品安全マネジメントシステムに関する国際規格であるISO22000を追加要求事項で補強した世界標準の食品安全規格。  
\*3 BRC: 英国小売業協会(British Retail Consortium)の略。同協会が食品安全のための第三者認証のスキームを運用している。



現在構築中の新品質保証システムLOTTE ADVANCEは、すでに取得している国際的な食品安全認証であるGFSI承認スキーム(FSSC22000/BRC)認証をベースに、品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001\*の考え方と、独自の高い品質や安全のルールを取り入れています。国内販売品を中心に製品の設計開発の段階から食品安全に関するリスクを評価するシステムを導入し、サプライチェーン全体でこれまで以上に幅広い視点でリスク低減に取り組みます。さらに、地域や製造している品目によって異なっていた品質や安全のルールも高いレベルでの統一を行います。LOTTE ADVANCEは、主要製品である菓子およびアイスクリームに適用され、品質方針および食品安全方針とそれに紐づく規程およびグループ共通基準、そして(株)ロッテおよび子会社ごとの具体的なルールなどを定めたガイドラインや規定、標準書などによって構成されています。(株)ロッテ品質保証部が中心となり、子会社を含めた整備を進めていきます。

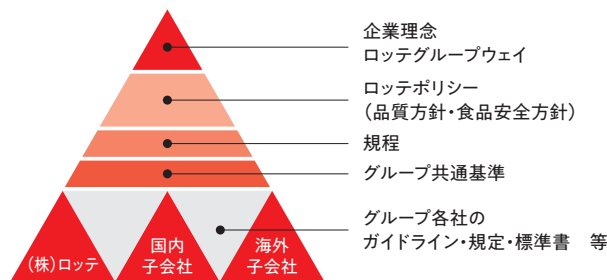
\* ISO9001: 一貫した製品・サービスを提供し、顧客満足を向上させるための品質マネジメントシステムに関する国際規格。

→→ LOTTE ADVANCEの構成

LOTTE ADVANCE



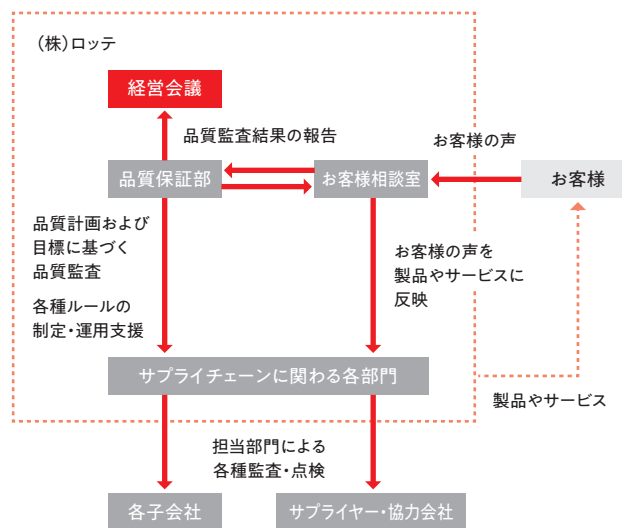
→→ LOTTE ADVANCEの文書体系



品質保証の推進体制

(株)ロッテ品質保証部が中心となり、(株)ロッテおよび子会社の製品開発からお客様とのコミュニケーションに至るまでのサプライチェーン全体で品質保証に取り組んでいます。(株)ロッテの経営会議では、品質保証に関する重要な方針や中期目標の検討、目標の進捗確認などを行っています。また、各子会社や各部門の担当者のレベルアップを図るため、品質や衛生に関する社内教育を行っています。

→→ 品質保証推進体制図



サプライチェーンでの品質保証

(株)ロッテおよび子会社では、品質方針および食品安全方針に基づいて、サプライチェーンの各段階で品質保証に取り組んでいます。

→→ サプライチェーン



● 製品開発

お客様に安全で高品質な製品をお届けするために、国内販売品を中心にリスク評価システムを導入し、製品開発の段階ごとにリスク評価を実施します。これによって、従来は製造工程に注力していた安全・安心の取り組み範囲を拡大させ、さらなるリスク低減に取り組みます。

● 原材料調達

購入した原材料は、ロットごとに検査し、適切に管理しており、使用した製品が分かるようトレーサビリティを確保しています。また、安全性や品質についてサプライヤーに定期的に自己評価をお願いし、それに基づいてフィードバックや衛生点検を行っています。これにより、サプライヤーと連携して継続的な品質の改善に努めています。衛生点検では、チェックリストを用いて必要事項を網羅的に確認するとともに、必要に応じて改善要請を行い、その結果を確認しています。

● 生産

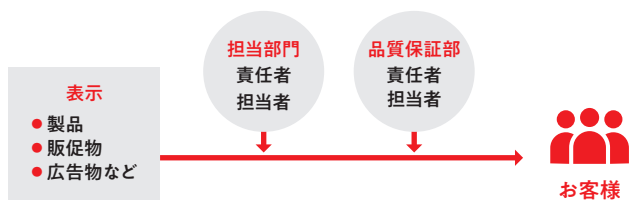
工場では製品への異物混入防止施策を重点的に実施しています。(株)ロッテでは、生産現場への入場時に、手洗い・アルコール消毒はもちろん、空気の噴射によるエアージャワー、掃除機のように吸い取る吸引式毛髪・塵埃除去機、粘着ローラーがけの3重の工程を経て、衣服に付着した毛髪やホコリなどの異物を取り除いています。また、製造工程においては、金属検出機、X線検査装置など複数の異物検出装置を用いて製品の安全性を確保しています。

● 販売

お客様が安心して製品を購入し、お召し上がりいただけるよう、製品パッケージや販促物、広告物などの表示については、関連法規を遵守することはもちろん、お客様に分かりやすく、誤認を与えないよう努めています。(株)ロッテでは、担当部門の複数人で表示の内容をチェックし、品質保証部が法律や業界ルールに照らして確認することで間違いや誤認を防ぐ体制を設けています。また、担当者のレベルアップを図るため、食品の表示に関する社内教育を品質保証部が主導して行っています。

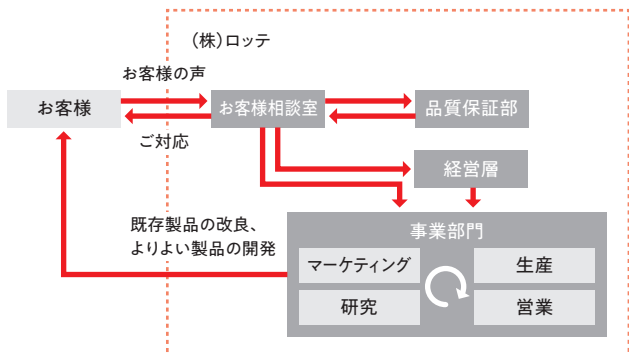
さらに、誤った固定観念や差別を助長するような表現、未成年への悪影響を及ぼす表現を行わないよう表示等に関する人権ガイドラインを作成して運用しています。

→ (株)ロッテの表示チェック体制



● お客様とのコミュニケーション

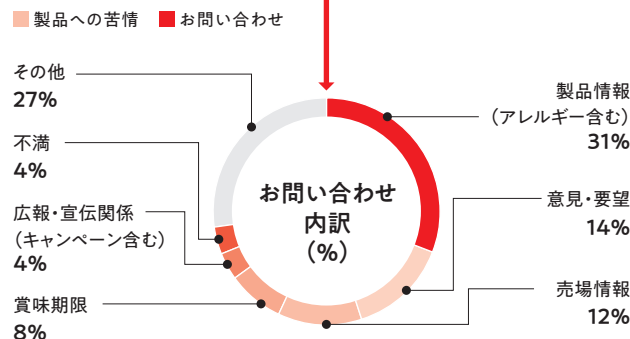
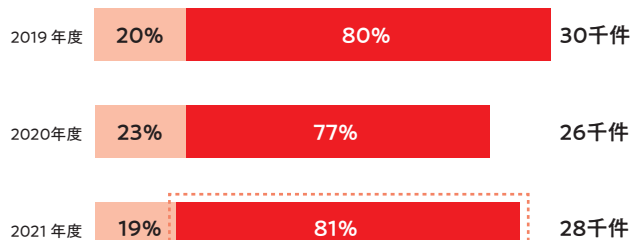
お客様からのお問い合わせやご相談にお応えする窓口として、(株)ロッテではお客様相談室を設置しており、安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、真摯な対応と情報提供に努めています。お客様の声は、経営層および社内関連部署で共有し、既存製品の改良や新製品の開発などにつなげています。



お客様の声件数と内訳

2021年度、(株)ロッテのお客様相談室に寄せられたお客様の声は28千件でした。

→ お客様の声件数



集計対象

株式会社ロッテ

リコールおよび景品表示法違反

2021年度は、(株)ロッテおよび子会社において法令違反によるリコールはありませんでした。また、景品表示法違反として日本の消費者庁による一般公表を受けた事例はありませんでした。

◆ 持続可能な調達

基本的な考え方

(株)ロッテでは、高品質な製品・サービスを安定的にお客様にお届けするためには、安全・安心であることはもちろん、環境や社会にも配慮した、持続可能な原材料の調達が重要だと考えています。これを実現するため、取引先や業界内外のステークホルダーと連携して、サプライチェーン全体で持続可能な調達活動を推進しています。2018年には調達方針を制定し、この考え方を明文化しました。

▶ (株)ロッテ 調達方針

<https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/procurement.html>

責任あるサプライチェーンの構築

(株)ロッテでは、調達方針に基づき、持続可能な調達活動を推進しています。調達方針には、倫理的な取引や品質、安全性に関するはもちろん、サプライチェーンにおける環境や社会への配慮についても掲げています。しかしながら、サプライチェーンのグローバル化に伴い、私たちだけでサプライチェーン全体における環境や社会への影響を把握・管理することは難しく、サプライヤーと協働して取り組むことが不可欠です。そこで、2019年4月に(株)ロッテ サプライヤーガイドラインを制定しました。本ガイドラインを通して、サプライヤーと基本的な価値観を共有し、さらには対話を通じてより有益な関係を構築して、共に持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。また、本ガイドラインの説明会を定期的を実施することで、さらなる理解促進と関係構築を進めています。

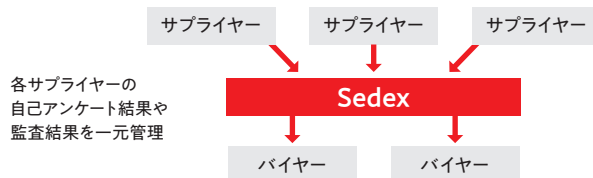
▶ (株)ロッテ サプライヤーガイドライン

[https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/pdf/supplier\\_guideline.pdf](https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/pdf/supplier_guideline.pdf)

また、2021年よりサステナビリティ情報等の自己アンケート結果や監査結果を共有できる世界最大のプラットフォームであるSedex\*に加入しています。Sedexを活用して各サプライヤーの評価や情報収集を行うとともに、未入会の一次サプライヤーに対しては、Sedexへの加入とSedexを通じた情報共有を要請しています。2022年6月末時点で、原材料取引金額で53%の一次サプライヤーにSedexを通じて情報共有いただいています。



\* Sedex: サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム (Supplier Ethical Data Exchange) の略。2004年に英国で設立された、サプライチェーンにおける責任あるビジネス慣行の実現を目指し、企業の倫理情報を管理・共有するためのプラットフォームを提供する非営利団体。



### 重要原材料

使用している原材料を使用量、依存度、代替の可否、環境や社会との関わりなどの視点で総合的に評価し、重要原材料を整理しています。また、事業や地球環境の変化、社会からの要請に応じて定期的に重要原材料を見直しています。

#### → 重要原材料

カカオ豆	チョコレート製品の主原料
パーム油	幅広い製品に用いられる油脂や食品添加物の原料
紙	幅広い製品の容器包装に使用

### カカオ豆

(株)ロッテでは、2025年度までに主な調達先であるガーナから調達するカカオ豆のうちフェアカカオの割合を100%にすること、2028年度までに全ての調達先から調達するカカオ豆のうちフェアカカオの割合を100%にすることを目標に掲げています。

2028年目標  
100%



2021年度のカカオ豆の調達実績は5.1千tで、そのうちフェアカカオの割合は19%でした。今後も、産地やサプライヤーと協力してフェアカカオの調達割合を拡大していきます。

#### → カカオ豆調達量

2019年度	7.5千t うちフェアカカオ4.0%
2020年度	8.3千t うちフェアカカオ11%
2021年度	5.1千t うちフェアカカオ19%

豆の状態で開催したカカオ豆の重量

#### 集計対象

株式会社ロッテ

カカオ豆の生産地は農家の貧困や児童労働、森林破壊等、様々な課題を抱えています。チョコレートが主力製品である(株)ロッテにとって、カカオ豆の持続可能な調達は重要な課題であり、これまで調達活動を通じた様々な支援を行ってきました。これらの持続可能なカカオ産業の実現に貢献する活動をフェアカカオプロジェクトと名付けて推進しています。



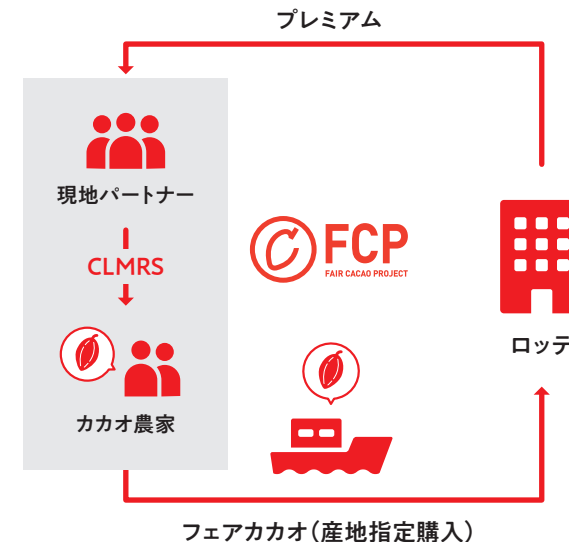
フェアカカオプロジェクトでは、生産地が抱える様々な課題のうち児童労働の撤廃に向けた取り組みからスタートしています。これまで行っていた地域指定購入による支援に加え、現地のパートナーと協力して児童労働のモニタリングを行うCLMRS\*を導入しています。地域指定購入は、調達する生産地域を指定し、そこから調達するカカオ豆に一定の割増金(プレミアム)を上乗せして支払うもので、割増金はその地域におけるCLMRSに使われます。CLMRSは児童労働を発見・是正することももちろん、モニタリングによって地域ごとに異なる課題を明らかにし、フォローアップにより継続的な改善を行うことを目的としています。このように調達したカカオ豆をフェアカカオと名付けて、その調達割合の拡大をESG中期目標に掲げています。

\* CLMRS: 児童労働監視改善システム (Child Labor Monitoring and Remediation System) の略。カカオ産地で児童労働撤廃のための活動を推進するNPO団体のInternational Cocoa Initiative (ICI) が開発したシステム。

#### → CLMRS概要



#### → フェアカカオ概要



\* CLMRS: 児童労働監視改善システム (Child Labor Monitoring and Remediation System) の略。カカオ産地で児童労働撤廃のための活動を推進するNPO団体のInternational Cocoa Initiative (ICI) が開発したシステム。

また、国内外の業界団体やNPOなどと協力した生産地支援も行っています。農家および将来の農家の担い手である子どもたちへの支援は、カカオ豆の持続可能な調達につながります。

● 世界カカオ財団 (World Cocoa Foundation)

カカオ農家の支援を目的として2000年にアメリカで設立された国際的なNPO法人です。赤道直下のカカオ栽培地域にて、カカオ農家の技術支援や、過酷な児童労働のない社会の実現を目指した活動に取り組んでいます。



World Cocoa Foundation

● ジョイセフ

女性のいのちと健康を守るために活動している1968年に日本で設立された国際協力NGOです。ジョイセフを通じて、2007年からガーナ共和国へ保健活動に関する支援をしています。これまでに地域保健ボランティアや助産師が家庭訪問による健康教育などに用いる再生自転車の寄贈、安心して清潔な水を確保するための井戸を建設するための支援を行ってきました。近年は感染症予防対策に重点を置き、保健施設の衛生環境強化や保健スタッフの研修などへの支援を実施しています。

女性。選択できる世界を。  
JOICFP

● 国連 WFP (国際連合世界食糧計画WFP 協会)

飢餓のない世界を目指して活動する国連の食料支援機関で、活動の柱の一つとなっているのが学校給食支援です。学校給食を届けるためのキャンペーンである「レッドカップキャンペーン」に参加し、国連WFPがガーナ共和国で行う、学校給食支援を応援しています。

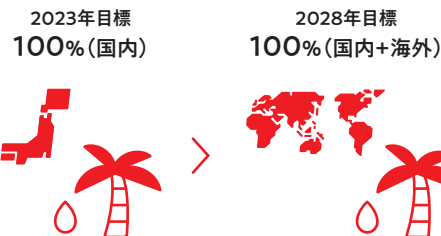


© WFP/Derrick Botchway

パーム油

(株)ロッテでは、2023年度までに国内で調達するパーム油を、RSPO\* 認証などの第三者認証油に100%切り替えること、さらに2028年度までに国内外のグループ会社でも実現することを目標に掲げています。

\* RSPO: 持続可能なパーム油のための円卓会議 (Roundtable on Sustainable Palm Oil) の略。持続可能なパーム油の生産と利用を促進することを目的として設立された国際NPO。



2021年度のパーム油の調達実績は16.0ktで、そのうち第三者認証油の割合は18%となり、前年度より8ポイント増加しました。(株)ロッテは持続可能なパーム油の調達を推進するため、RSPOに加盟しています。RSPOを通じてパーム油に関わる企業・団体と連帯し、パーム油産業界全体の持続可能な発展に貢献していきます。

→ パーム油調達量

2019年度	15.4kt	うち第三者認証油0%
2020年度	16.0kt	うち第三者認証油10%
2021年度	16.0kt	うち第三者認証油18%

油脂および油脂加工品に含まれるパーム油の重量  
過去報告値に誤りがあったため見直しています。

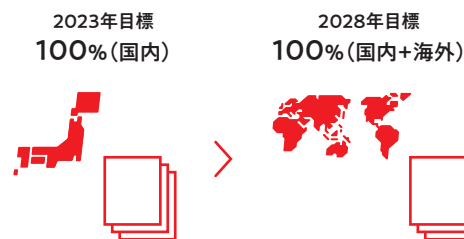
集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

紙

(株)ロッテでは、2023年度までに国内で調達する製品の容器包装に用いる紙を、FSC\* 認証などの第三者認証紙や再生紙といった環境に配慮した紙に100%切り替えること、さらに2028年度までに国内外のグループ会社でも実現することを目標に掲げています。

\* FSC: 森林管理協議会 (Forest Stewardship Council) の略。森林管理の認証を行う国際NPO。



2021年度の国内における製品の容器包装に用いる紙の調達実績は41.2ktで、そのうち環境に配慮した紙の割合は96%となり、前年度より2ポイント増加しました。今後も、紙の持続可能な調達に取り組み、環境に配慮した紙の調達割合を拡大していきます。

→ 紙調達量 (製品の容器包装)

2019年度	42.5kt	うち環境に配慮した紙93%
2020年度	42.7kt	うち環境に配慮した紙94%
2021年度	41.2kt	うち環境に配慮した紙96%

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

## ◆ アニマルウェルフェア

### 動物実験について

(株)ロッテでは、動物実験に関する考え方を定めています。

#### 動物実験に関する考え方

私たちは、社会に対して説明責任を果たす必要がある場合、適切な代替試験方法がない場合、又は、法規制上或いは行政から求められる場合等を除き、外部委託も含めて動物実験は行いません。やむを得ず動物実験を行う場合は、関連する法令や指針等に則り、3R\*の原則を遵守します。

\* Replacement (代替法の利用)、Reduction (動物利用数の削減)、Refinement (苦痛の軽減)

### 重要原材料と社会との対話

(株)ロッテおよび子会社では、動物由来の原材料として主に卵と乳(乳製品含む)を使用しています。これらを使用量や飼育環境などの視点で総合的に評価し、卵がアニマルウェルフェアにおける重要原材料であると認識しています。重要原材料である卵について、アニマルウェルフェアを取り巻く国内外の動向を捉え、より時代や社会の要請に柔軟に応えられるよう、この分野で活動するNPOと対話を実施しています。

## ◆ 従業員の能力発揮

### 基本的な考え方

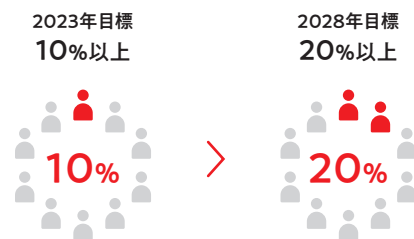
事業を支える最も重要な基盤は人材です。(株)ロッテは、従業員一人ひとりが持てる力を存分に発揮し、心身ともに健康でいきいきと活躍できる環境を整えることで、企業の持続的な発展を目指しています。2018年には人事方針を制定し、この考え方を明文化しました。

#### ▶ (株)ロッテ 人事方針

<https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/humanresources.html>

### ダイバーシティ&インクルージョン

(株)ロッテでは、多様な従業員が活躍することがロッテノベーション創出の原動力であり、企業競争力の源泉であると考え、ダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。その一環として、日本全体の課題でもある女性活躍に取り組んでおり、2023年度までに国内の女性管理職比率を10%以上にすること、さらに2028年度までに20%以上をすることを目標に掲げています。



#### → 国内女性管理職比率

2020年3月末時点	5.3%(株式会社ロッテ 3.9%)
2021年3月末時点	5.9%(株式会社ロッテ 4.5%)
2022年3月末時点	9.9%(株式会社ロッテ 4.8%)

#### 集計対象

株式会社ロッテおよび国内子会社

### ● 企業文化の醸成

(株)ロッテは、2021年1月にイクボス\*企業同盟に加入し、ダイバーシティ&インクルージョンの推進を経営層より発信しました。また、全管理職を対象にダイバーシティマネジメント研修を実施しています。



\*イクボス: 部下のキャリアやライフ・ワーク・バランスを応援しながら、組織としての効果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむ上司(経営者・管理職)のこと

### ● 女性活躍推進

(株)ロッテでは、次世代の管理職候補である若手女性社員の育成を目的として、食品企業6社合同女性活躍推進セミナーを2016年より毎年実施しています。各企業の女性管理職と交流を深め、将来のイメージや活躍のヒントを得ることができると好評です。多様なキャリアの在り方やロールモデルを知ることで、自身の中長期的なキャリアを主体的に考える場となっています。こうした取り組みの結果、管理職を目指す女性リーダー(係長相当)の数は着実に増えています。また、新卒採用においては女性比率40%を目標とし、さらなる女性活躍を推進しています。(P39 (株)ロッテ 女性比率)

### ● 障がい者の雇用

ダイバーシティ推進の一環として、障がい者の雇用を推進しており、法定雇用率以上の雇用を目指して取り組んでいます。トイレの改修や段差の解消など、多様な人材が働きやすい職場環境の整備を進めています。また、障がい者理解促進の研修を(株)ロッテおよび国内子会社の全社員を対象に実施しています。

#### → 障がい者雇用率

2020年3月末時点	2.2%(法定雇用率2.2%)
2021年3月末時点	2.4%(法定雇用率2.3%)
2022年3月末時点	2.4%(法定雇用率2.3%)

#### 集計対象

株式会社ロッテおよび国内子会社

● 高齢者の雇用

(株)ロッテおよび国内子会社では、60歳の定年後も雇用を継続する定年再雇用制度を設けています。長年培った知識や技能で職務を遂行するとともに、後進の指導や育成の役割を担っています。

→ 再雇用実績

2019年度	希望者数 121人	再雇用率100%
2020年度	希望者数 95人	再雇用率100%
2021年度	希望者数 107人	再雇用率100%

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニーにおける60歳以上65歳未満の希望者

● LGBTQへの取り組み

(株)ロッテでは、ダイバーシティ&インクルージョンの一環として、誰もが安心して働ける職場環境を整備するためにLGBTQへの取り組みを行っています。人権方針で性的指向および性自認に対する差別の禁止を明文化しており、これに基づいて人権研修およびハラスメント防止研修を全社員に対して行っています。さらに、2022年よりLGBTQ理解促進の研修を(株)ロッテおよび国内子会社の全社員を対象に実施しています。また、採用活動においては性別欄に「その他」および「無回答」の項目を追加したエントリーシートを導入していきます。

ライフ・ワーク・バランス

(株)ロッテでは、従業員が心身ともに健康でいきいきと活躍するためには、ライフ・ワーク・バランスの実現が不可欠であると考えています。そこで、2023年度までに国内のグループ会社に勤務する従業員一人当たり労働時間を年間1,850時間以下にすること、さらに2028年度までに年間1,800時間以下にすることを目標に掲げています。

2023年目標  
1,850時間以下



2028年目標  
1,800時間以下



→ 従業員一人当たり実績

2019年度	年間総労働時間 1,977時間 時間外労働時間(管理職除く) 196時間 有給休暇取得日数 12.6日(取得率62.8%)
2020年度	年間総労働時間 1,885時間 時間外労働時間(管理職除く) 131時間 有給休暇取得日数 13.3日(取得率66.4%)
2021年度	年間総労働時間 1,880時間 時間外労働時間(管理職除く) 129時間 有給休暇取得日数 14.1日(取得率70.7%)

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

(株)ロッテでは、目標の実現のために、柔軟な働き方ができる様々な制度を導入し、ライフステージにかかわらず多様な人材が活躍できる環境を整備しています。さらに、これらの制度を活用し、生産性向上による労働時間削減に取り組み、ライフ・ワーク・バランスの実現を目指しています。

● 働き方改革推進委員会の設置

(株)ロッテでは、生産性向上による労働時間削減を実行するためには、具体的な取り組みが必要と考え、2017年5月に働き方改革推進委員会を設置しました。当該委員会は関連部署と連携しながら、適正な労務管理の推進や、残業時間の多い部署の業務改善サポートに取り組んでいます。

● テレワーク勤務制度

(株)ロッテでは、ICTを活用し時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方を推進し、労働生産性を高めるとともに、育児や介護など、ライフイベントを迎えた際も安心して働き続けられることを目的として、テレワーク勤務制度を導入しています。

● スライドワーク(時差出勤)制度

(株)ロッテでは、個々のライフスタイルに合わせて従業員が働きやすい環境を整備するとともに、早朝や夜の業務に効率的に対応することを目的として、個人単位で始業および終業時間を選択できるスライドワーク(時差出勤)制度を導入しています。

● フリーアドレスオフィス

(株)ロッテ本社ビルの一部では、固定席を設定せずに、従業員がその日の仕事に合わせて席を選んで働くことができるフリーアドレスオフィスを導入しています。コミュニケーションを活発に行う席や、集中して作業を行う席など、様々なテーマの座席を設置しています。



● 有給休暇の取得促進

(株)ロッテでは、余暇の充実や自己研さんに充てる時間を創出し、ライフ・ワーク・バランスの実現を目的に、有給休暇の取得促進に取り組んでおり、リフレッシュ休暇などの制度があります。

ライフイベントと仕事の両立

(株)ロッテでは、出産や育児、介護などのライフイベントを迎えた際も安心して働き続けられるよう、様々なサポートを行っています。

● 出産のサポート

(株)ロッテでは、従業員が安心して産休に入り、また、スムーズに職場復帰できるようにサポートをしています。上司は「出産・育児面談シート」を活用し、体調把握や引き継ぎに関する確認を行います。どの職場においても、上司と妊娠中の従業員が円滑にコミュニケーションを図れるよう、体制を整えています。

● 育児のサポート

(株)ロッテでは、子育てをしながら働く従業員が、育児と仕事を両立し安心して働き続けられるよう取り組んでいます。社内制度は、法律で定められたものよりも充実した制度となっています。浦和工場、狭山工場の敷地内には、事業所内保育所が設置されています。また、育休復帰後の社員が上司と参加するワークショップや、育児中の従業員が参加するランチケーション等、ネットワーク構築やマインドセットにつながる施策を実施しています。さらに、男性の育児参画を目的とし、育児休業制度の周知や社内研修にも力を入れています。



→ 育児休業制度の利用実績

2019年度	育児休業取得者数	43人(男性7人 女性36人)
	育児休業取得率	38%(男性9% 女性100%)
	育児休業後復職率	98%(男性100% 女性98%)
	育児休業後定着率	100%(男性100% 女性100%)
	育児時短勤務者数	124人(男性2人 女性122人)
2020年度	育児休業取得者数	55人(男性16人 女性39人)
	育児休業取得率	48%(男性21% 女性100%)
	育児休業後復職率	100%(男性100% 女性100%)
	育児休業後定着率	100%(男性100% 女性100%)
	育児時短勤務者数	139人(男性2人 女性137人)
2021年度	育児休業取得者数	78人(男性39人 女性39人)
	育児休業取得率	67%(男性50% 女性100%)
	育児休業後復職率	99%(男性100% 女性97%)
	育児休業後定着率	99%(男性100% 女性97%)
	育児時短勤務者数	160人(男性2人 女性158人)

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

● 介護のサポート

(株)ロッテでは、介護をしながら働く従業員が、介護と仕事を両立し、安心して働き続けられるよう支援施策を用意しています。社内制度は法律で定められたよりも充実した制度を整備しており、さらに介護に関する悩みや困りごとについて、外部相談窓口で介護の専門家に相談できるほか、介護施設や介護サービスの検索や情報収集ができる従業員向けの介護情報WEBサイトを用意しています。

従業員エンゲージメント

(株)ロッテおよび子会社では、従業員が成長と働きがいを感じられる企業文化の醸成と職場づくりに取り組んでいます。従業員一人ひとりがいきいきと働き、自らの成長と働きがいを感じられる職場づくりが、個人および企業の成長、そして企業価値の向上につながると考えています。国内のグループ会社では、社員意識調査を毎年行い、社員の働きがいを定量的・継続的に把握し、課題把握と改善に向けて取り組んでいます。2023年度までに国内のグループ会社に勤務する社員のうち働きがいを感じている割合を80%以上にすること、さらに2028年度まで80%以上を維持することを目標に掲げています。

2023年・2028年目標  
80%以上



→ 働きがいを感じている社員割合(社員意識調査より)

2019年調査	60.1%
2020年調査	62.7%
2021年調査	62.4%

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

人材育成

私たちは、従業員一人ひとりの成長を促すことで、個性や能力を最大限に発揮していきいきと働くことが企業の成長、そして企業価値の向上につながると考えています。(株)ロッテでは、主体的に自分自身の成長に向けて努力する従業員を支援する様々な能力開発プログラムを整備しています。

→ 研修実績(人事部主催の能力開発に関する研修)

2019年度	研修費用 89百万円 一人当たり年間平均研修時間 9時間
2020年度	研修費用 45百万円 一人当たり年間平均研修時間 5時間
2021年度	研修費用 45百万円 一人当たり年間平均研修時間 9時間

集計対象

株式会社ロッテ

● 階層別プログラム

従業員として必要とされる基本的な知識や心構えなどを習得する新入社員研修に始まり、仕事に必要なスキルアップや今後のキャリアを考える年次研修、昇格者に対するマインドセットやマネジメントの基礎を学ぶ研修など、従業員の成長段階と目的に合わせたきめ細かな階層別のプログラムを用意しています。また、並行して職場内での業務を通じたOJTも行っており、不安を感じることなく安心して活躍できる仕組みを整えています。

● 部門別プログラム

各部門別に専門知識や技能を習得するための研修を行っています。

● 選抜型プログラム

次世代リーダーや次期経営人材の育成を目的とした研修をはじめ、広い視野を身に付けるための外部研修への派遣を行っています。また、女性活躍のための研修やグローバル人材育成のための研修も実施しています。グローバル人材の育成については、海外研修制度も設けており、応募者の中から研修生を選考し、海外子会社へ派遣しています。国内で経営知識や語学を習得した後、現地での実務経験や事業環境の研究などを行います。

● 自己選択型プログラム

主体的に自分自身の成長に向けて努力する従業員には、自己選択型の自己啓発の機会を多数提供しています。応募型研修のロッテノベーションカレッジに加え、語学研修やeラーニング、通信教育を整備しており、幅広い知識や技能を習得できます。

キャリア開発支援

(株)ロッテでは、年に一度、業務の負担感や適性、今後のキャリアプランなどについて上司と話し合う機会を設けています。従業員が今後のキャリアプランを考えるきっかけとなり、会社側は、一人ひとりの状況や適性、考えを理解し、活躍の機会の提供や育成に活用しています。さらに、50代の従業員に対して、セカンドキャリアプランをサポートする制度を用意しています。また、定年退職する従業員の希望者全員に定年後再雇用制度を運用しており、定年退職者の活躍を支援しています。

→ 能力開発プログラム体系



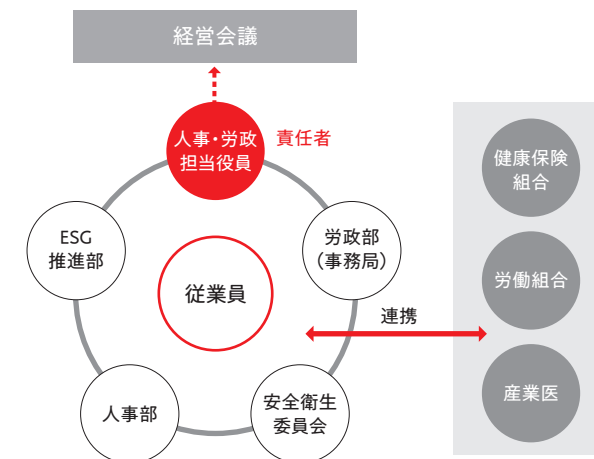
健康経営

(株)ロッテでは、会社の発展は従業員の健康とともにあると考えています。この考えを明文化した健康経営宣言に基づいて、心身ともに健康に働ける環境づくりを目的に取り組んでいます。

▶ (株)ロッテ 健康経営宣言

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/ourapproach/healthmanagement.html>

健康経営の推進は、(株)ロッテ人事部・労政部の担当役員が責任者となり、労政部、人事部、ESG推進部および安全衛生委員会が連携し、ロッテ健康保険組合、労働組合および産業医と協力して行っています。



健康経営の取り組みは、健康経営で解決したい経営課題とそれを解決するための施策のつながりを示した「健康経営戦略マップ」を用いて行っています。また、重点取り組み項目とそれに紐づく評価指標を定めており、それらをモニタリングしながら改善することで、実効性のある取り組みを行っています。

(株)ロッテは、健康経営の取り組みが評価され、「健康経営優良法人認定制度(経済産業省)」に基づく、健康経営優良法人に認定されました。



→ 重点取り組み項目

健康状態の把握と改善推進	定期健康診断の全員受診 二次健康診断対象者へのフォロー 心身に関する健康維持のための相談体制の整備
運動習慣支援	社内ウォーキングイベントによる運動習慣定着促進
受動喫煙防止および禁煙サポート	完全分煙と従業員の禁煙サポート

労使関係

(株)ロッテでは、労働組合が組成されています。従業員に影響を及ぼす可能性のある変更を行う際には、労働組合と協議の上、労働組合および従業員の代表に事前に通知することを労働協約に定めています。

▶ (株)ロッテ 健康経営戦略マップおよび評価指標

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/ourapproach/healthmanagement.pdf>

→ 主な施策

主な施策				
健康管理	定期健康診断	特定保健指導	短期人間ドッグ	脳ドッグ
	無料歯科検診	郵送健診	24時間電話健康相談	Web健康相談
	インフルエンザ予防接種	新型コロナワクチン 職域接種	メンタルヘルス カウンセリング	
健康サポート ライフサポート	家庭常備薬斡旋	禁煙サポート	妊婦保健指導費補助	乳幼児保健指導費補助
	セカンドオピニオン 手配サポート	団体保険制度 (医療・特定疾病)	福利厚生サービスの 外部契約	
ヘルスリテラシー の向上	健康ポータルサイト	健康増進機関紙配布	健康増進教育	安全衛生委員会
運動習慣支援	ウォーキングイベント	スポーツクラブ・施設契約	クラブ活動	
実態調査	社員意識調査	ストレスチェック	生産性調査(SPQ)	

## 人事データ一覧

### ● 従業員の状況

#### → 従業員数(人)

	2020年3月31日時点			2021年3月31日時点			2022年3月31日時点		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
グループ	10,428	—	—	9,844	—	—	11,704	—	—
従業員数	6,609	—	—	6,668	—	—	7,356	—	—
臨時従業員数	3,819	—	—	3,176	—	—	4,348	—	—
国内	5,900	—	—	5,708	—	—	7,509	—	—
従業員数	3,099	1,952	1,147	3,165	1,982	1,183	3,766	2,354	1,412
臨時従業員数	2,801	—	—	2,543	—	—	3,743	—	—
(株)ロッテ	4,628	—	—	4,618	—	—	4,496	—	—
従業員数	2,405	1,700	705	2,493	1,747	746	2,491	1,738	753
臨時従業員数	2,223	—	—	2,125	—	—	2,005	—	—
国内子会社	1,272	—	—	1,090	—	—	3,013	—	—
従業員数	694	252	442	672	235	437	1,275	616	659
臨時従業員数	578	—	—	418	—	—	1,738	—	—
海外	4,528	—	—	4,136	—	—	4,195	—	—
従業員数	3,510	—	—	3,503	—	—	3,590	—	—
臨時従業員数	1,018	—	—	633	—	—	605	—	—
アジア	2,743	—	—	2,652	—	—	2,727	—	—
従業員数	2,529	—	—	2,456	—	—	2,500	—	—
臨時従業員数	214	—	—	196	—	—	227	—	—
欧米	1,785	—	—	1,484	—	—	1,468	—	—
従業員数	981	—	—	1,047	—	—	1,090	—	—
臨時従業員数	804	—	—	437	—	—	378	—	—

#### → (株)ロッテ 女性比率(%)

	2020年3月31日時点	2021年3月31日時点	2022年3月31日時点
女性管理職比率	3.9	4.5	4.8
女性リーダー(係長相当)比率	9.3	9.9	11.0
女性新卒採用比率	41.9	39.3	43.2

#### → 従業員の平均年齢(歳)

	2020年3月31日時点			2021年3月31日時点			2022年3月31日時点		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
国内	38.7	39.3	37.6	38.8	39.4	37.8	39.7	40.7	38.2
(株)ロッテ	38.5	39.0	37.1	38.5	39.1	37.0	38.9	39.5	37.5
国内子会社	39.5	41.3	38.5	40.0	41.5	39.2	41.4	44.0	39.0

#### → 従業員の平均勤続年数(年)

	2020年3月31日時点			2021年3月31日時点			2022年3月31日時点		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
国内	15.0	15.8	13.7	15.2	15.9	14.0	16.6	17.5	15.0
(株)ロッテ	15.8	15.8	16.1	15.9	15.9	15.9	16.4	16.4	16.3
国内子会社	12.0	15.7	10.0	12.6	16.1	10.7	16.9	20.6	13.6

#### → 管理職数(人)

	2020年3月31日時点			2021年3月31日時点			2022年3月31日時点		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
グループ	752	614	138	712	563	149	827	642	185
女性管理職比率(%)	18.4%			20.9%			22.4%		
国内	495	469	26	439	413	26	536	483	53
女性管理職比率(%)	5.3%			5.9%			9.9%		
(株)ロッテ	384	369	15	337	322	15	332	316	16
新卒	302	290	12	278	266	12	276	264	12
中途	82	79	3	59	56	3	56	52	4
国内子会社	111	100	11	102	91	11	204	167	37
新卒	93	83	10	86	76	10	173	140	33
中途	18	17	1	16	15	1	31	27	4
海外	257	145	112	273	150	123	291	159	132
女性管理職比率(%)	43.6%			45.1%			45.4%		

2022年3月31日時点の数値には、Dari K株式会社および株式会社銀座コーナーを含んでいます。また、Dari K株式会社および海外子会社は決算期に合わせて12月末時点の数値を使用しています。



● 採用と退職の状況

→ 採用者数(人)

	2019年度			2020年度			2021年度		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
グループ	—	—	—	—	—	—	1,362	926	436
国内	199	103	96	183	103	80	103	56	47
新卒	169	92	77	170	97	73	88	50	38
中途	30	11	19	13	6	7	15	6	9
(株)ロッテ	156	93	63	157	97	60	90	50	40
新卒	148	86	62	150	91	59	81	46	35
中途	8	7	1	7	6	1	9	4	5
(株)メリーチョコレートカムパニー	43	10	33	26	6	20	13	6	7
新卒	21	6	15	20	6	14	7	4	3
中途	22	4	18	6	0	6	6	2	4
海外	—	—	—	—	—	—	1,259	870	389

→ 退職者数(人)

	2019年度			2020年度			2021年度		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
グループ	—	—	—	—	—	—	1,369	869	500
定年	—	—	—	—	—	—	51	26	25
自己都合	—	—	—	—	—	—	1,318	843	475
国内	126	71	55	95	53	42	150	67	83
定年	28	27	1	20	17	3	36	22	14
自己都合	98	44	54	75	36	39	114	45	69
(株)ロッテ	70	51	19	50	34	16	88	52	36
定年	22	21	1	10	9	1	25	19	6
自己都合	48	30	18	40	25	15	63	33	30
(株)メリーチョコレートカムパニー	56	20	36	45	19	26	62	15	47
定年	6	6	0	10	8	2	11	3	8
自己都合	50	14	36	35	11	24	51	12	39
海外	—	—	—	—	—	—	1,219	802	417
定年	—	—	—	—	—	—	15	4	11
自己都合	—	—	—	—	—	—	1,204	798	406

→ 離職率(%)

	2019年度			2020年度			2021年度		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
(株)ロッテ	1.9	1.7	2.5	1.6	1.4	2.1	2.5	1.8	4.0
新卒3年以内離職率	14.3	—	—	12.9	—	—	9.5	—	—

## ◆ 労働安全衛生

### 推進体制

(株)ロッテでは、中央安全衛生委員会が中心となり、各事業所の安全衛生委員会と連携して、労働災害のリスク低減に取り組んでいます。また、労働災害の再発防止に向け、掲示や研修を活用した過去の事故事例の共有などの教育も推進しています。

### 労働安全衛生教育

(株)ロッテおよび(株)メリーチョコレートカンパニーでは、労働災害を未然に防ぐため、様々な労働安全衛生教育を行っています。工場の新規入職者に対しては、基本的な安全教育と救命救急講習を実施しています。また、危険に対する感受性を養うことを目的として、体感教育ができる施設(安全道場)を使用した講習会を定期的に行っています。さらに、事業所を超えて、危険についての情報を共有し、改善について話し合う危険予知訓練研修(KYT研修)を毎年実施しています。

### 安全監査・点検の実施

(株)ロッテでは、安全監査・点検を実施し、法令違反防止や労働災害のリスク低減に取り組んでいます。また、万が一、労働災害が発生した場合には、再発防止に向け、原因究明と対策を徹底しています。

#### リスク低減取り組み事例

- ・危険体感装置の導入による災害への危機意識向上
- ・作業台の改良による生産性の向上と腰痛リスク低減
- ・生産ライン以外での転倒や衝突防止対策実施
- ・挟まれ対策として防護性の高い保護具(手袋)の導入

### 労働災害実績

労働災害が発生した場合は、徹底した原因究明と設備の安全点検や対策を行い、再発防止に取り組むとともに、事業所間での情報共有を行い、類似災害の防止に努めています。

#### → 労働災害被災者数

2019年度	休業災害50人(国内17人 海外33人) 重大災害0人
2020年度	休業災害38人(国内16人 海外22人) 重大災害0人
2021年度	休業災害50人(国内17人 海外33人) 重大災害0人

#### 集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー、主要な海外子会社

#### → 労働災害による死亡者数

2019年度	0人
2020年度	0人
2021年度	0人

#### 集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー、主要な海外子会社

#### → 休業災害度数率および強度率(国内)

2020年度	度数率1.53 強度率0.0424
2021年度	度数率1.68 強度率0.0289

#### 集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

## ◆ 支援活動

### 医療従事者への支援

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、最前線で働く医療従事者の皆様のサポートを目的で、(株)ロッテより新型コロナウイルス感染症対応に従事されている医療機関へWeSupport\*を通じてお菓子の無償提供を行いました。

#### 医療従事者を食で応援

# WeSupport

\* WeSupport: (一社)RCF、オイシックス・ラ・大地(株)、ココネット(株)(セイノーホールディングスグループ)が連携して2020年4月20日に設立したプラットフォームで、新型コロナウイルス感染症の予防や治療にあたり、健康と命を守ってくれている医療従事者を食品の物資支援でサポート。食品の提供を希望する企業や団体と、支援を必要とする病院とのニーズのマッチングを行い、受け取り時に病院側の負担や迷惑にならず、必要なものが必要な場所に、安全にお届けできる仕組みを提供。

### 子育て家族への支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける子育て家庭を応援するため、(株)ロッテは公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン\*のプロジェクトを通じてお菓子の無償提供を行いました。



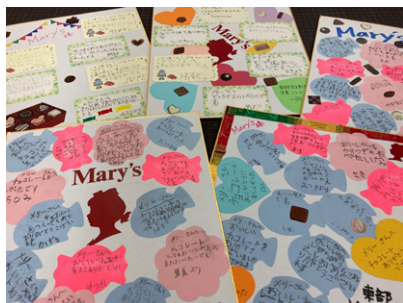
**Save the Children**  
セーブ・ザ・チルドレン

\* 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン:1919年に設立された民間・非営利の子ども支援活動を行う国際組織。日本では1986年に設立され、子どもたちの貧困問題等の解決に取り組み、新型コロナウイルス感染拡大時には、経済的に困難な状況にある家庭を対象に、子どもたちの食の状況改善や遊びの機会確保を目的とした食品等の物資支援でサポート。

## ◆ 子会社の取り組み

### メリーチョコレートカンパニー

2009年より「メリー桜プロジェクト」として、日本全国の小学校にて子どもたちと一緒に桜の植樹を行う環境教育を行っています。新型コロナウイルスの感染拡大により、新たな桜の植樹は行えないため、2020年からは今まで植えた桜の中で、自然災害により損傷した木の点検と植え替えを行い、緑の豊かさを守る活動をしています。また、チョコレートを寄贈する活動も行っており、2021年度は、工場が立地する松戸市、船橋市、大田区の医療従事者や介護従事者、児童施設やこども食堂に寄贈したほか、東京都の児童養護施設67施設にはクリスマスの時期に寄贈し、コロナ禍に於いても想いを贈る心の支援を行いました。



### ロッテウェデル(ポーランド)

#### ● 再生可能エネルギーの導入

ロッテウェデルでは2020年2月より使用電力の全てを風力発電由来の再生可能エネルギーに切り替えました。再生可能エネルギーの導入によって、2021年度はCO<sub>2</sub>排出量を約11.8千t削減しました。

#### ● 持続可能なパーム油の調達

2020年度に引き続き、RSPO認証パーム油への切り替えに努めています。2021年度に調達したパーム油のうち、9割以上がRSPO認証パーム油でした。引き続き100%を目標に掲げながら、ポーランド国内で情報発信を行い、持続可能なパーム油のさらなる普及に努めます。

#### ● ガーナ 学校の設立

サステナブルなカカオ原料の調達を目指し、ガーナの子どものための教育や国としての発展を積極的に支援しています。現地のNGOを通じて3年かけて寄付を行った結果、2021年9月、テマに学校が設立され、現在40人の児童が教育を受けています。今後も段階的な教育機能の拡充が予定されており、ロッテウェデルも寄付や、社員によるオンラインワークショップを実施するなど支援を継続します。



### ロッテインドネシア

ロッテインドネシアでは、現地の孤児院を訪問してお菓子などの寄付を行いました。また、孤児と一緒にイスラム教の断食明けを祝うイベントを開催しました。



### タイロッテ

タイロッテでは、現地の児童養護施設等を訪問し、お菓子の寄付を行いました。



### ロッテベトナム

ロッテベトナムでは、2022年3月から5月に36校の大学を訪問しました。キシリトールの無料配布やゲーム、無料の歯科検診を中心とするイベントを開催し、キシリトールの効能を伝えるとともに、学生たちの歯と口の健康をサポートしました。



Governance

# 企業統治



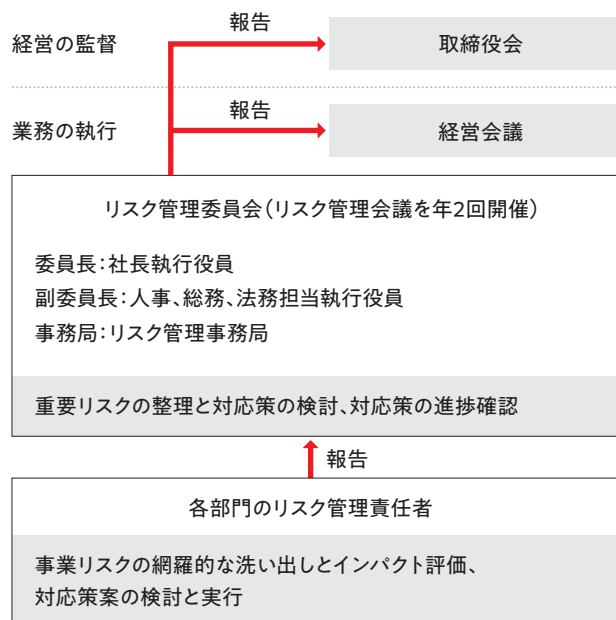
企業統治を、将来にわたって持続的に成長していくための重要な経営基盤の一つと位置付けています。近年、コロナ禍や戦争などにより、事業環境の変化は速度を増しています。変化に対応しながら、持続的に企業価値を高められるよう、企業統治の強化を進めています。

- ◆ リスク管理
- ◆ コンプライアンス
- ◆ 情報セキュリティ
- ◆ コーポレートガバナンス

## ◆ リスク管理

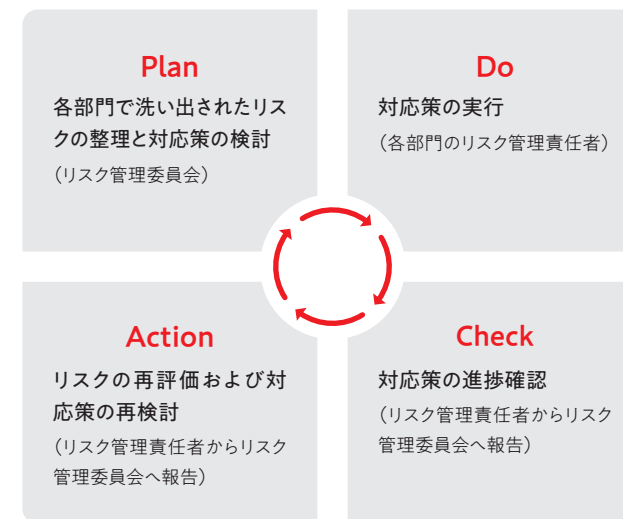
### リスク管理体制

事業に関わるあらゆるリスクはリスク管理委員会を中心とするリスク管理体制において管理しています。各部門にリスク管理責任者を配置し、事業リスクの網羅的な洗い出しとインパクト評価(発生可能性×影響度)を行っています。リスク管理委員会は各部門で洗い出されたリスクと対応策案についてリスク管理責任者より報告を受け、インパクトの高い重要リスクとその対応策を検討します。経営会議と取締役会はリスク管理委員会より検討された結果について報告を受けています。また、万一リスクが実現した際には、リスク管理委員会が緊急対策本部の役割を担い、速やかに対応を指揮し、被害を最小限に抑えます。



### リスク管理プロセス

リスク管理委員会と各部門のリスク管理責任者が共同してPDCAを回すことで事業リスクの低減を図っています。各部門のリスク管理責任者が網羅的に洗い出したリスクをインパクト評価し、その結果をもとにリスク管理委員会でリスクの優先順位付けと対応策の検討を行います。検討された対応策をリスク管理責任者の指揮のもと、各部門で実行し、その進捗をリスク管理委員会に報告します。また、リスク管理責任者は定期的にリスクの洗い出しとインパクト評価を見直し、対応策案を再検討してリスク管理委員会に報告します。



## ◆ コンプライアンス

### 行動憲章 ロッテグループウェイ

行動憲章 ロッテグループウェイは(株)ロッテおよび子会社の役員と従業員全員が理解し、これに基づいて業務を行う指針として2008年に制定しました。また、ホームページなどで公開しており、倫理的で誠実な事業活動を社会に約束しています。7つの項目から構成されており、企業理念であるロッテグループミッションとロッテバリューを実現するための行動指針として位置付けられています。

また、ホームページ以外にも、企業理念WEBブックおよび多言語版冊子の中でも行動憲章について解説し、全役員と従業員への浸透理解促進を図っています。



▶ ロッテグループウェイ

[https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/#group\\_way](https://www.lotte.co.jp/corporate/about/philosophy/#group_way)

### 従業員への教育

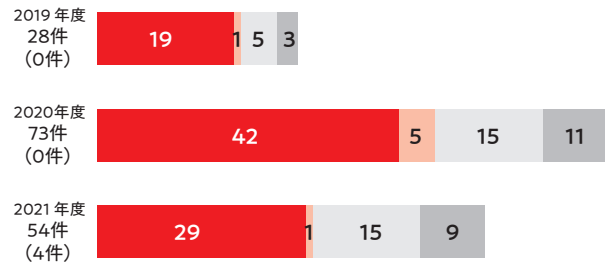
(株)ロッテでは、行動憲章の浸透と倫理的で誠実な事業活動の実践のために、従業員を対象としたコンプライアンス教育を行っています。2021年度は、新入社員や昇格者を対象とした研修および年次研修でコンプライアンスに関する研修を実施しました。また、全社員を対象にコンプライアンスガイドブックを配布し、コンプライアンス意識の向上を図っています。



### 内部通報制度

(株)ロッテでは、内部通報制度としてクリーンラインを2006年より社内を設置しています。ハラスメント等の人権問題、経費不正や情報持ち出し等の不正行為、法令違反および社内規程違反等のコンプライアンス違反行為全般について、電話やメール、手紙などで従業員からの通報や相談を受け付けており、被害者がいる場合には速やかに救済を行っています。内部通報に関する社内規定で、通報者の保護とあらゆる不利益な取扱いの禁止を明記しており、匿名での通報も可能です。また、(株)ロッテおよび国内外の子会社では、社外通報窓口を2018年より設置しており、内部通報の実効性を高めています。

#### 📊 通報窓口への相談・通報件数



■ ハラスメント ■ 不正行為 ■ マネジメント ■ 雇用・労働関係  
カッコ内は2021年3月末時点で対応が完了していない件数

集計対象

株式会社ロッテおよび株式会社メリーチョコレートカンパニー

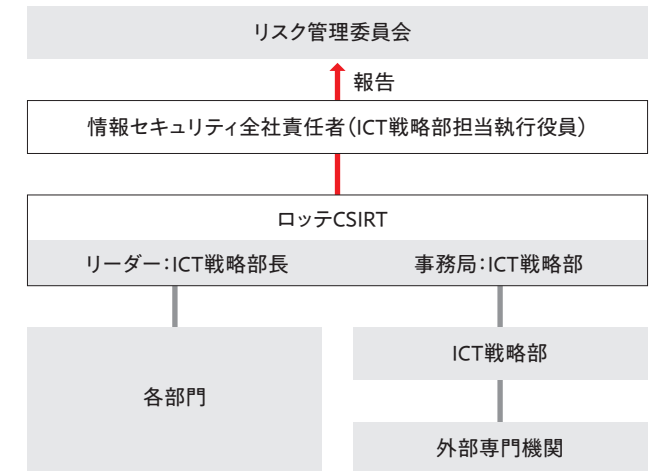
### 法令違反

2021年度は、重大な法令違反は発生しませんでした。

## ◆ 情報セキュリティ

### 情報セキュリティ体制

ICT戦略部担当執行役員を情報セキュリティ全社責任者として、情報セキュリティを推進しています。情報セキュリティ全社責任者のもとロッテCSIRT (Computer Security Incident Response Team) を設置しています。ロッテCSIRTが各部門の情報セキュリティに関するリスクの洗い出しと対応策の検討を行うとともに、外部の専門機関と連携して情報セキュリティの向上に努めています。また、他の事業リスクと同様に、情報セキュリティに関するリスクについてはロッテCSIRTよりリスク管理委員会に報告しています(P43)。また、万が一有事が起きた際には、ロッテCSIRTがサイバーセキュリティ対策チームを組成し、速やかに対応にあたります。



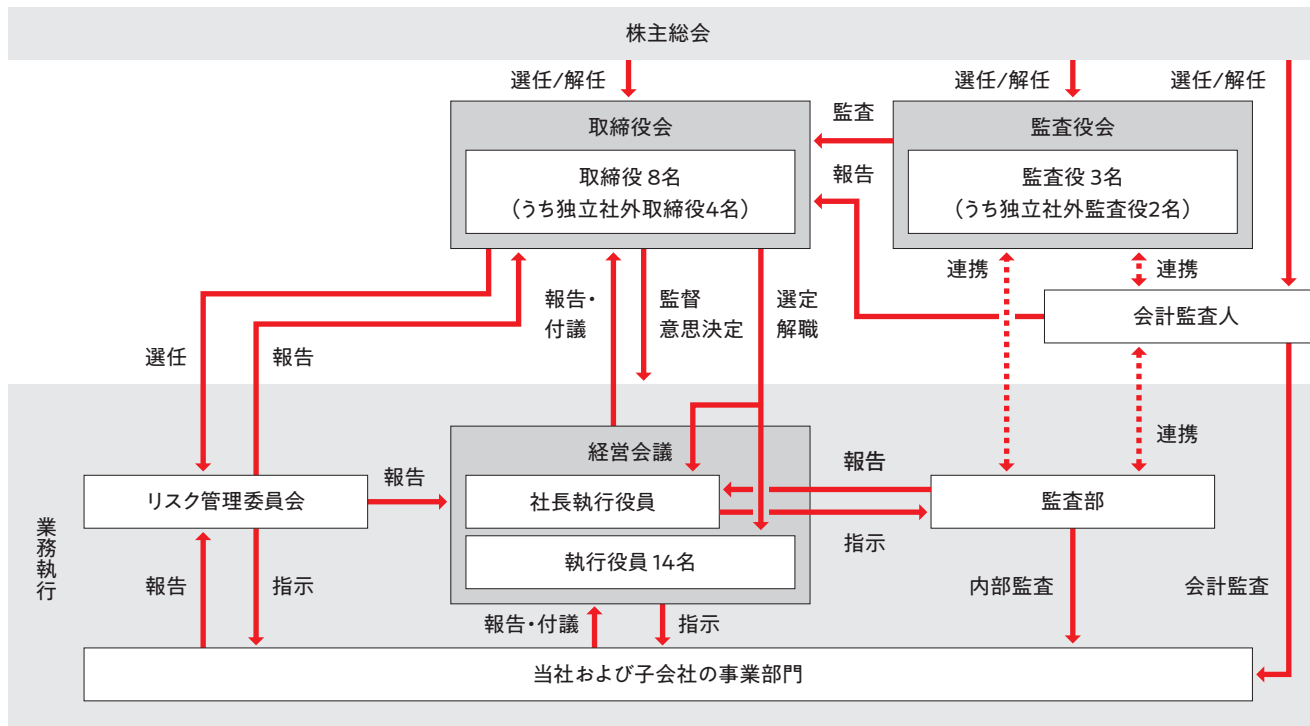
### 情報セキュリティ教育

ロッテCSIRTは、情報セキュリティに関する教育も行っており、新入社員への研修のほか、定期的に標的型攻撃メールに関する注意喚起を行うとともに、実践型の訓練を実施しています。

## ◆ コーポレートガバナンス

2022年7月1日現在

機関設計の形態	監査役会設置会社	執行役員の人数	14名
取締役の人数	8名(社外取締役4名 うち女性2名)	会計監査人	有限責任監査法人トーマツ
監査役の数	3名(社外監査役2名)	内部監査部門	監査部




組織・会議体	議長	構成員				2021年度開催実績
		総員	社内取締役	社外取締役	監査役	
取締役会	代表取締役社長 執行役員	11	4	4	3	16回
経営会議	代表取締役社長 執行役員	19*	4	—	2	13回
監査役会	常勤監査役	3	—	—	3	13回

\* 執行役員14名および議長より指名を受けた部門責任者3名を含む



## ◆ 温室効果ガス排出量の第三者保証

当該データブックP19に記載した2021年度の☑の付されたエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量 (Scope1、2) および温室効果ガス排出量 (Scope3) については、デロイトトーマツサステナビリティ株式会社による独立した第三者保証を受けています。

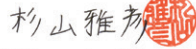


独立した第三者保証報告書

2022年8月29日

株式会社ロッテ  
代表取締役社長執行役員 牛嶋 栄一 殿

デロイトトーマツ サステナビリティ株式会社  
東京都千代田区丸の内三丁目2番3号

代表取締役 

デロイトトーマツサステナビリティ株式会社 (以下「当社」という) は、株式会社ロッテ (以下「会社」という) が作成した「株式会社ロッテ サステナビリティデータブック 2022」(以下「報告書」という) に記載されている ☑ の付された 2021 年度のエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (Scope1、Scope2)、温室効果ガス排出量 (Scope3) (以下「温室効果ガス情報」という) について、限定的保証業務を実施した。

**会社の責任**  
会社は、会社が採用した算定及び報告の基準 (報告書の温室効果ガス情報に注記) に準拠して温室効果ガス情報を作成する責任を負っている。また、温室効果ガスの算定は、様々なガスの排出量を結合するため必要な排出係数と数値データの決定に利用される科学的知識が不完全である等の理由により、固有の不確実性の影響下にある。

**当社の独立性と品質管理**  
当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務、及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく、国際会計士倫理基準審議会の「職業会計士の倫理規程」が定める独立性及びその他の要件を遵守した。また、当社は、国際品質管理基準第 1 号「財務諸表の監査及びレビュー並びにその他の保証及び関連サービス業務を行う事務所品質管理」に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の要件の遵守に関する文書化した方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

**当社の責任**  
当社の責任は、当社が実施した手続及び当社が入手した証拠に基づいて、温室効果ガス情報に対する限定的保証の結論を表明することにある。当社は、「国際保証業務基準 3000 過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」(国際監査・保証基準審議会)、「国際保証業務基準 3410 温室効果ガス報告に対する保証業務」(国際監査・保証基準審議会) 及び「サステナビリティ情報審査実施指針」(サステナビリティ情報審査協会) に準拠して、限定的保証業務を実施した。

当社が実施した手続は、職業的専門家としての判断に基づいており、質問、プロセスの観察、文書の閲覧、分析的手続、算定方法と報告方針の適切性の検討、報告書の基礎となる記録との照合又は調整、及び以下を含んでいる。

- ・ 会社の見積り方法が、適切であり、一貫して適用されていたかどうかを評価した。ただし、手続には見積の基礎となったデータのテスト又は見積の再実施を含めていない。
- ・ データの信頼性、データ収集方法、原始データ及び現場に適用される仮定を評価するため、責任者への質問、証憑及び関連文書の閲覧を含む手続により、事業所の調査を実施した。

限定的保証業務で実施する手続は、合理的保証業務に対する手続と比べて、その種類と実施時期が異なり、その実施範囲は狭い。その結果、当社が実施した限定的保証業務で得た保証水準は、合理的保証業務を実施したとすれば得られたであろう保証水準ほどには高くない。

**限定的保証の結論**  
当社が実施した手続及び入手した証拠に基づいて、温室効果ガス情報が、会社が採用した算定及び報告の基準に準拠して作成されていないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

以 上

Member of  
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

## ◆ 会社情報

### 会社概要

商号	株式会社ロッテ (LOTTE CO., LTD.)
本社所在地	東京都新宿区西新宿3-20-1
創業	1948年6月
資本金	2億1,700万円
決算期	3月31日
従業員数	2,491名 7,356名 (海外拠点・グループ会社含む) (2022年3月31日現在、海外およびDari K (株) は2021年12月31日現在)



### グループ会社

#### 親会社

株式会社ロッテホールディングス

#### 国内

株式会社メリーチョコレートカムパニー

Dari K株式会社

株式会社銀座コージーコーナー

#### 海外

THAI LOTTE CO., LTD. (タイ)

PT. LOTTE INDONESIA (インドネシア)

LOTTE VIETNAM CO., LTD. (ベトナム)

台湾楽天製菓 (台湾)

LOTTE Wedel sp. z o.o. (ポーランド)

### 非財務情報開示のご案内

WEBサイトにも各種情報を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

#### ロッテHP サステナビリティサイト

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/>

#### 株式会社ロッテ サステナビリティコミュニケーションブック2022

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/report.html>